

ミャンマーの教育制度・ 高等教育資格

牟田博光
東京工業大学名誉教授

内容の構成

- ミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」）の概況
- ミャンマーの教育制度の全体像
- 基礎教育の現状
- マトリキュレーション試験（大学入学資格試験）
- 高等教育制度の概要
- 質保証と政府による設置認可制度
- 学生モビリティの状況、課題、展望

ミャンマー連邦共和国の概況



- 面積 日本の1.8倍 インド、バングラデシュ、中国、ラオス、タイと国境を接する
- 人口 5,138万人（2024国勢調査、含推定値）
- 民族 ビルマ族70%、多民族
- 言語 ミャンマー語
- 宗教 仏教90%
- 国会 上院：民族代表院（168+軍人56）
下院：国民代表院（330+軍人110）
- GDP/C US\$ 名目 1,293 (2014) 1,490 (2020)
1,243 (2021) 1,359 (2024)
- 経済成長率 7.0% (2012-18)
-12.0% (2021)
- 1.0% (2024)

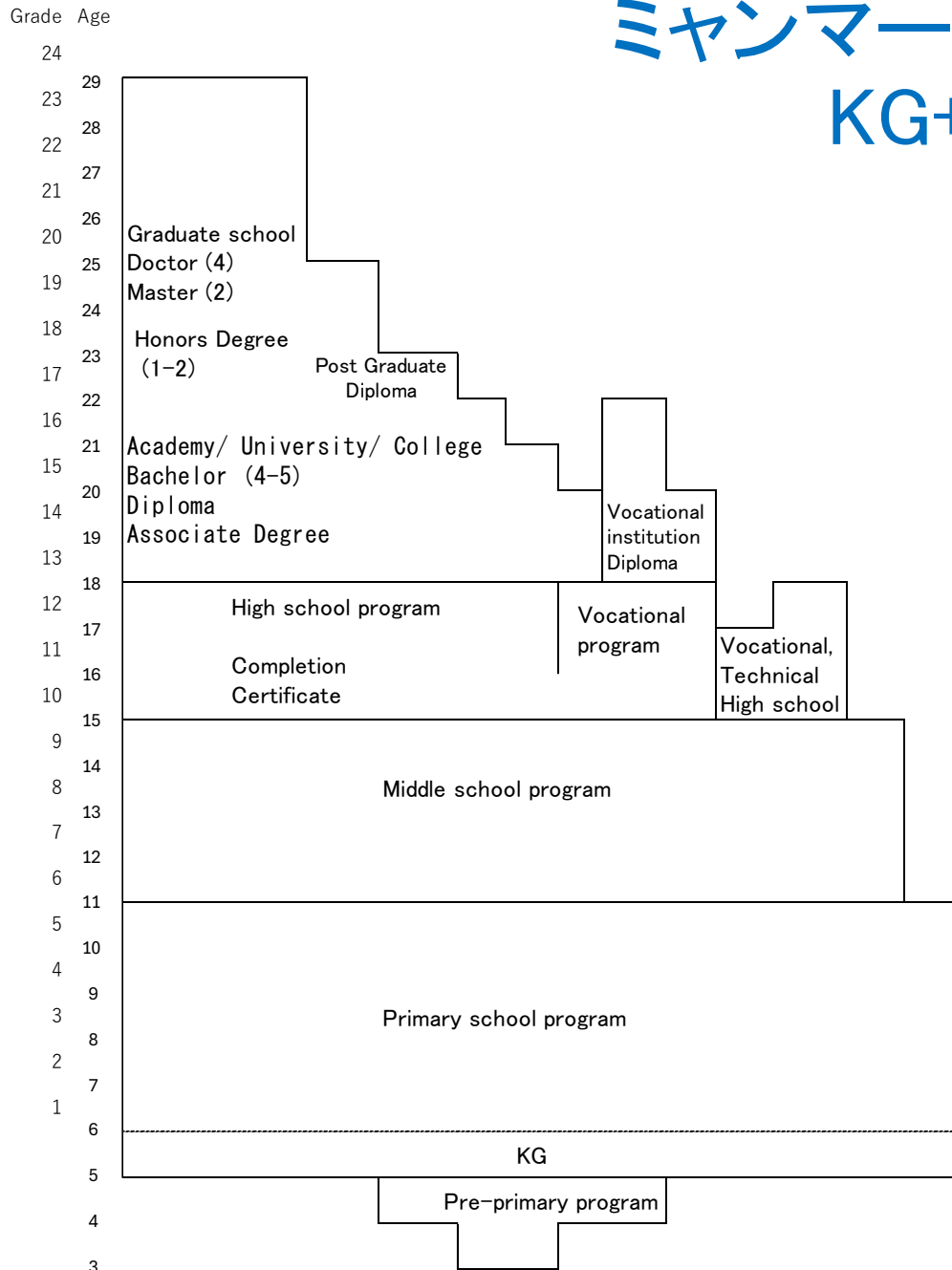
歴史概況

- 1886 英領インドに編入
- 1948・1 独立
- 1962 ネ・ウイン政権発足 社会主義経済政策
- 1988 国軍クーデターにより軍事政権成立
- 2006・4 ヤンゴンからネピドーへ遷都
- 2010・11 総選挙で連邦団結発展党（**USDP**）が8割の議席。
- 2011・3 ティン・セイン文民政権誕生、民政移管の実現
国名をビルマからミャンマー
- 2012・4 補欠選挙で**NLD**が45席中43獲得
- 2015・11 総選挙で**NLD**の大勝
- 2016・3・30 ティン・チョウ政権発足／2年後にウイン・ミン大統領
- 2020・11 総選挙で**NLD**の圧倒的勝利
- 2021・2・1 クーデターによりミン・アウン・フライ国軍最高司令官
政権掌握。**SAC**(国家統治評議会)下で暫定政権。

- アウンサン・スーチー他**NLD**（国民民主連盟）幹部は身柄拘束、軍事政権の反政府勢力弾圧
- 反政府勢力（＋少数民族過激派）の抵抗。前政権は**NUG**(国家統一政府)を樹立。独自の教育省設立。
- ASEAN、国際社会の反発
チャット / ドル 1,380→3,669 (現在、一時4,000超)
- アウンサン・スーチー他**NLD**幹部に有罪判決→（恩赦、減刑）
- 2025.12～2026.01 総選挙の実施
- 2026.4 新たに選出された**USDP**政権、
大統領ミン・アウン・フライ
80/330のタウンシップは戒厳令下

ミャンマーの教育制度

KG+5・4・3



基礎教育 6月～3月
高等教育 11月～9月

高等教育は関係各省が所管
Academy, University, Degree college,
College, Institute, Center, School

基礎教育高校課程は教育省、
宗教・文化省所管の学校は
マトリキュレーション試験
受験資格あり。

幼児教育は
教育省（Ministry of Education）
と社会福祉・救済・復興省
（Ministry of Social Welfare, Relief
and Resettlement）が所管

基礎教育学校の種類

	小学校課程						中学校課程				高校課程			
	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11		
ブランチ小学校	←→													
小学校	←→													
ポスト小学校	←→						←→							
ブランチ中学校	←→						←→							
中学校	←→						←→							
ブランチ高校							←→						←→	
高校							←→						←→	
	←→						←→						←→	

学制改革のため、2019年度はG4、2018年度はG3、2017年度はG2、2016年度はG1がない。

命令系統：教育省→州/管区教育事務所→地区教育事務所→町村教育事務所→学校
 MOE (DBE) State/Region District Township

COVID-19、クーデターによる教育の混乱

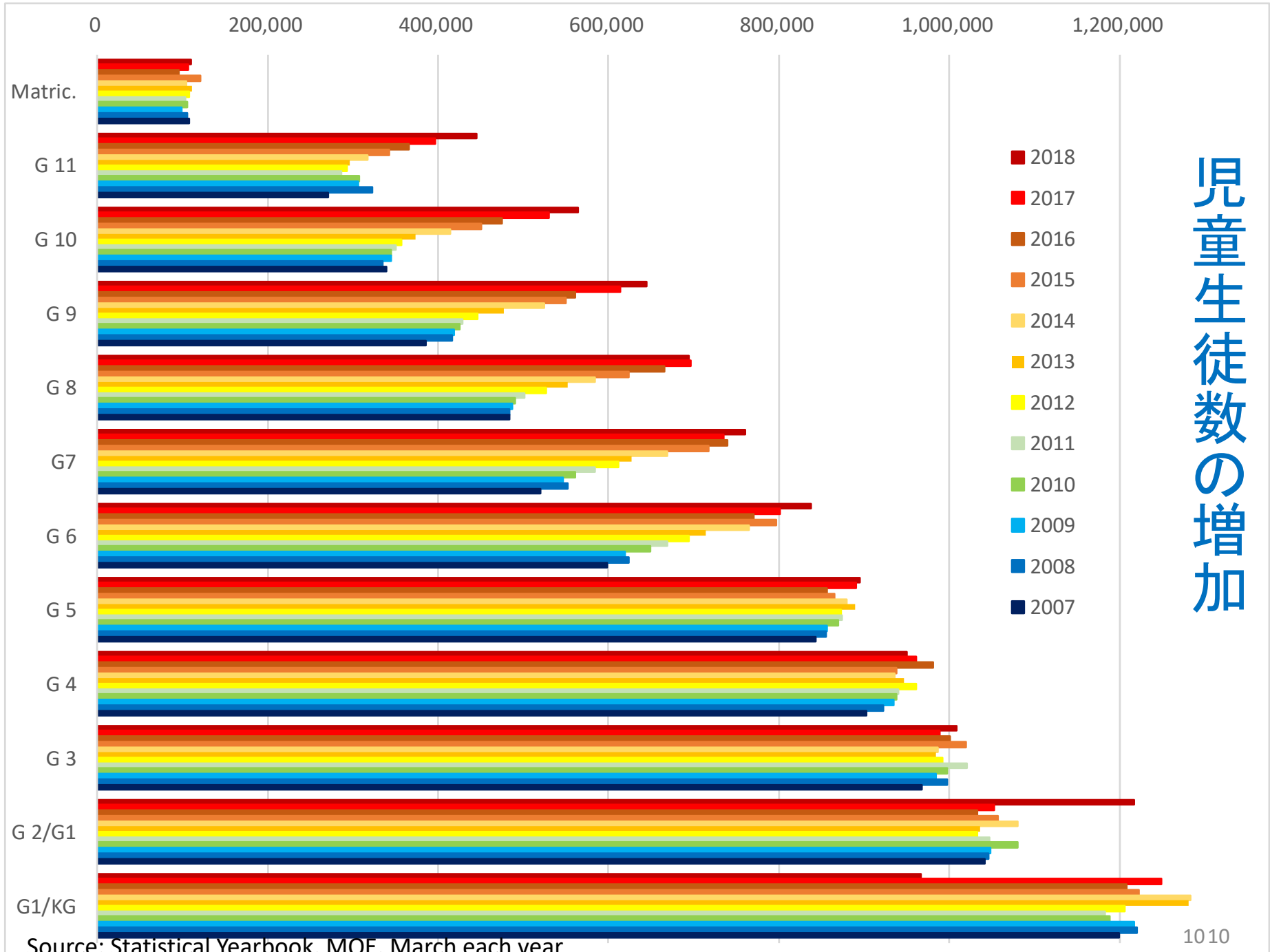
- 2020年度は新型コロナ感染状況の改善が見込めない中、基礎教育学校、大学共ほとんどの年度期間、学校は休校のまま学年が終了し、全員が留年。
- 2021年2月1日のクーデターにより、教育を取り巻く状況が大きく変わった。
- 2021年6月から基礎教育学校再開。11月から休校なく通常形態に戻る。
- 多くの教育省職員、学生はCDM(不服従運動)に参加。基礎教育学校教員の27%（12万人）、高等教育職員の1万9千名は免職。停職。学校に行かない（行かせない）状況
- 欠員補充のため多くの基礎教育職員、大学教員を新規雇用。

基礎学校制度改革とカリキュラムの変化

5・4・2→KG+5・4・3(パラレル方式)

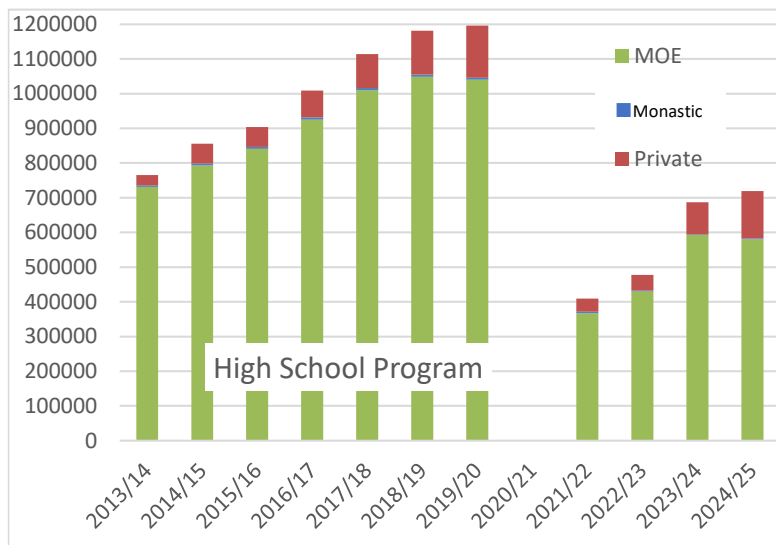
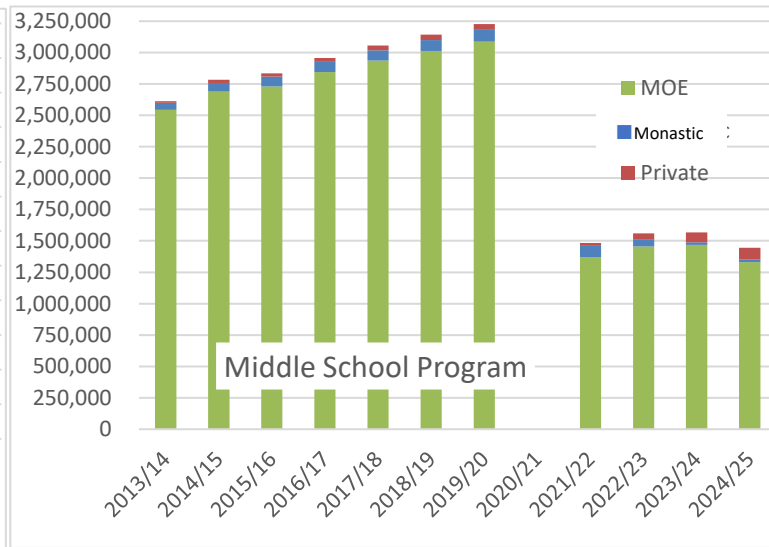
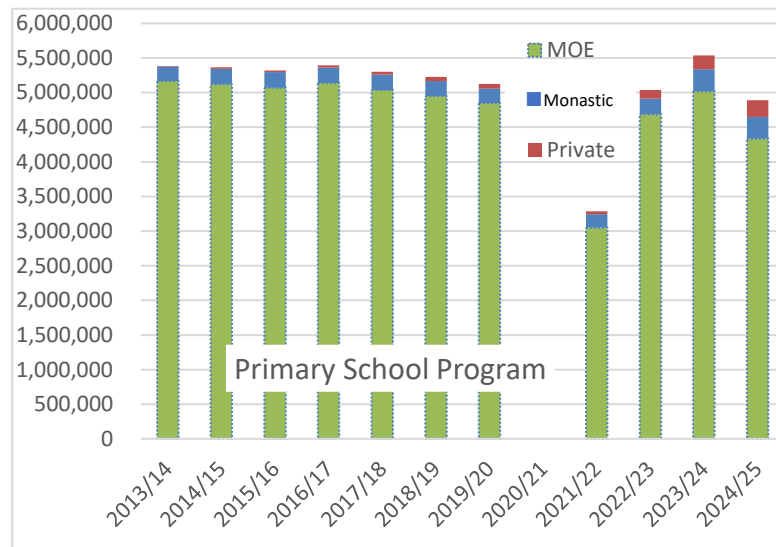
Old	Old Primary					Old Middle				Old High					
Standard Age	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
2015/16	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam			
2016/17	KG	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam			
2017/18	KG	G1	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam			
2018/19	KG	G1	G2	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam			
2019/20	KG	G1	G2	G3	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam			
2020/21	Schools were closed														
2021/22	KG	KG/G1	G1	G2	G3	G4	G6	G7	G8	G9	G10	G11	Old Matriculation Exam		
2022/23	KG	G1	G1/2	G2	G3	G4	G5	G6/7	G8	G9	G10	G11	Old Exam, No new gradu.		
2023/24	KG	G1	G2	G2/3	G3	G4	G5	G6	G7/8	G9	G10	G11	G12	New Matric. Exam	
2024/25	KG	G1	G2	G3	G3/4	G4	G5	G6	G7	G8/9	G10	G11	G12	New Matric. Exam	
2025/26	KG	G1	G2	G3	G4	G4/5	G5	G6	G7	G8	G9/ 10	G11	G12	New Matric. Exam	
2026/27	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G5/ 6	G6	G7	G8	G9	G10/11	G12	New Matric. Exam	
2027/28	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G6/7	G7	G8	G9	G10	G11/12	New Matric. Exam	
2028/29	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G7/8	G8	G9	G10	G11	G12	New Exam
2029/30	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G8/9	G9	G10	G11	G12	New Exam
2030/31	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G9/ 10	G10	G11	G12	New Exam
2031/32	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G10/11	G11	G12	New Exam
2032/33	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G11/12	G12	New Exam
2033/34	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G12	New Exam
2034/35	KG	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	New Matric. Exam	
New	New Primary					New Middle					New High				

淡色は新カリキュラムを示す。



児童生徒数の増加

私立学校、モナステック学校の増加



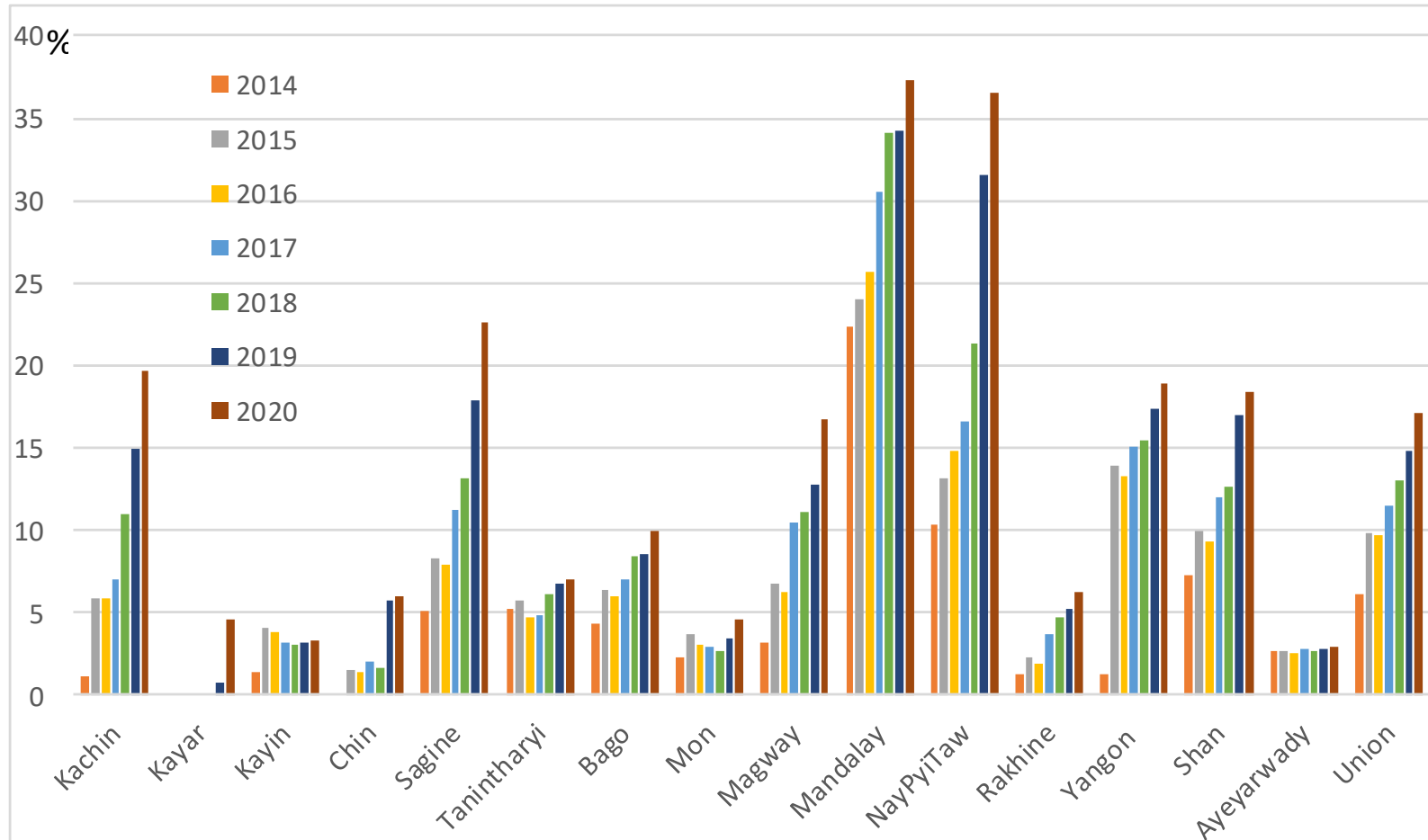
Monastic
Private

6.4%
4.9%
6.5%
19.0%

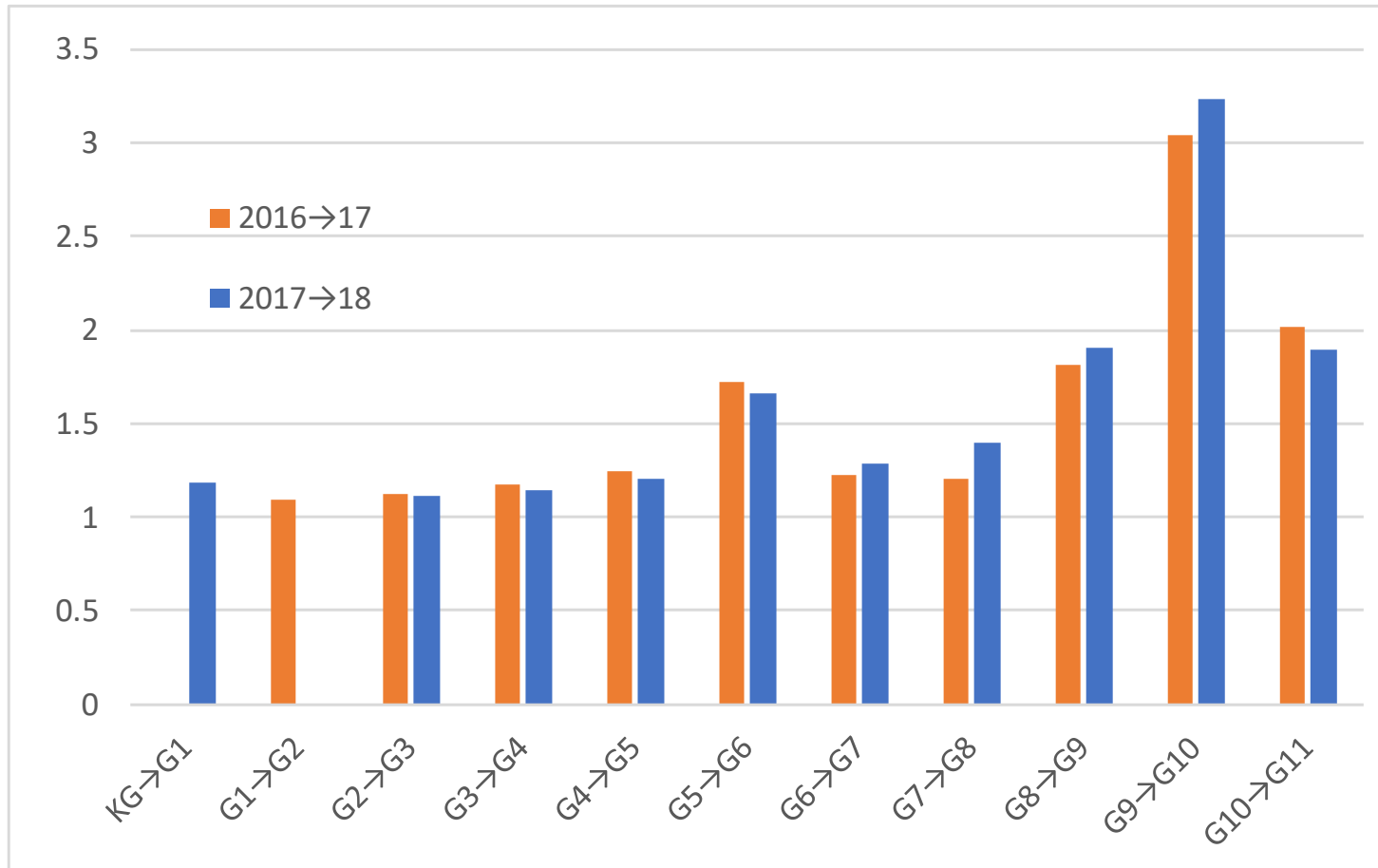
Primary
Primary
Middle
High

2024/25

Grade 11生徒数に占めるモナステック・私立学校生徒数の割合(州/管区別)



私立学校生徒数の推移率(全国)



マトリキュレーション試験合格者内訳(2018年)

State/region	Pass Rate % DBE Schools Exclu. Practi- cing Schools	Pass Rate % DBE Schools Inclu. Practi- cing Schools	Pass Rate % Internal Students	Pass Rate % Monastic & Private Schools	% of G11 Monastic & Private Schools	# of G11 Students Monastic Schools	# of G11 Students Private Schools
Kachin	21.95		24.36	43.89	10.93		2,191
Kayar	20.56		20.56		0.00		0
Kayin	24.97		25.29	36.28	2.98		365
Chin	10.57		10.67	19.67	1.57		89
Sagaing	26.33	26.44	29.90	50.49	13.17		8,349
Tanintharyi	24.16		26.19	55.82	6.15		764
Bago_East	22.49		24.50	46.85	7.74		2,386
Bago_West	26.08		27.91	45.02	9.49		1,619
Mon	34.09		34.64	52.86	2.59		533
Magway	24.65		26.86	44.44	11.13		5,214
Mandalay	25.34		34.77	53.18	34.15	7,693	16,429
Nay Pyi Taw	21.73		29.52	54.37	21.28		2,793
Rakhine	17.55		18.09	28.53	4.72		1,079
Yangon	32.08	32.49	35.39	51.87	15.42		11,205
Shan_South	23.85		25.73	38.77	11.42		2,497
Shan_North	25.35		28.92	46.73	15.95		1,768
Shan_East	10.33		13.07	41.94	8.65		256
Ayeyarwady	25.56		26.48	59.41	2.65		1,674
Practicing schools	80.07						
Union	25.63		28.91	49.90	13.05	7,693	59,211
	25.55	Exclu. Practicing schools					

教育普及の努力

- 2011年の民主政権登場以降、9年間にわたり教育の量的拡大、質的向上が政策的に計られ、それなりの効果が得られた。
- G1からG2にかけての退学率が極端に小さくなったのは2016年からの新KG導入による大きな影響。
- G2以降G9までについては、各種の「No one is left behind」政策が寄与。

学校新設、学校昇格（年5,000校）

KG・小・中・高校課程の教育費無償政策の徹底。

教科書、教材、文具、制服

Assessment & Examination 政策に基づく評価、

(補習、点数制からグレード（A,B,C,D）制、試験回数、進級・進学を柔軟に判断、親への啓蒙等)。

教員、校長に対する指示（2018年度）

- いかなるお金も親から集めない
- プレゼントやお金を親からもらわない
- 制服に貼る校章、クラス章を売らない
- 教材を売らない
- 5歳児はKGに6歳児はG1に全員受け入れる
- 毎日出勤し、決められた授業スケジュールに従って授業する
- テストは年4回しか行わない
- 学習に問題ある子どもに補習授業をする
- 低学年生全員が読、書、計算が出来るようにする

2026年5月にも同様の指示

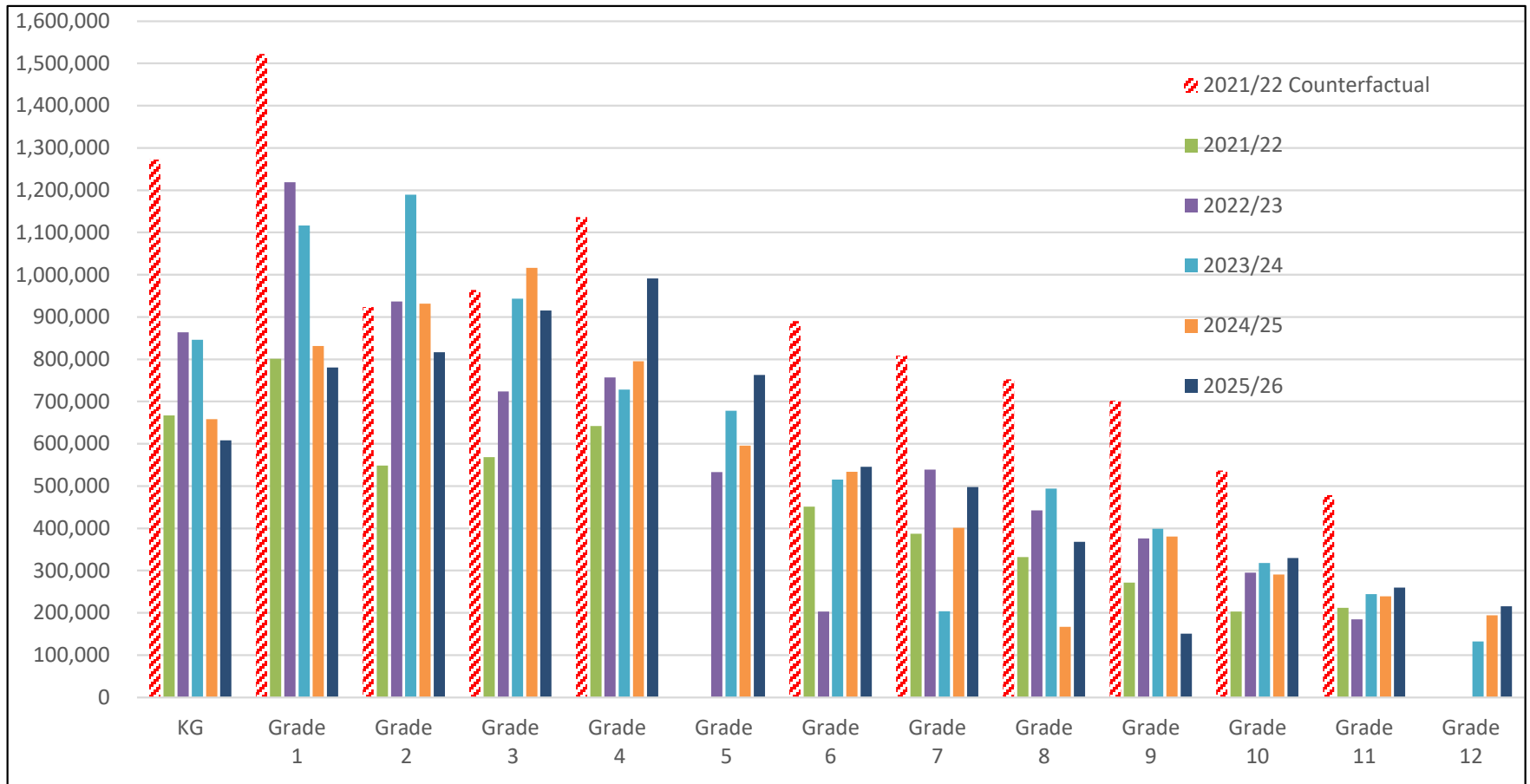
禁止：金品の受領、集金（校章、学級章、PTA会費、
スポーツ費、教材費、図書費など）の禁止

日本の基礎教育支援：2014-2021 「初等教育カリキュラム改訂プロジェクト」 G1-G5の全教科書開発支援(10科目)

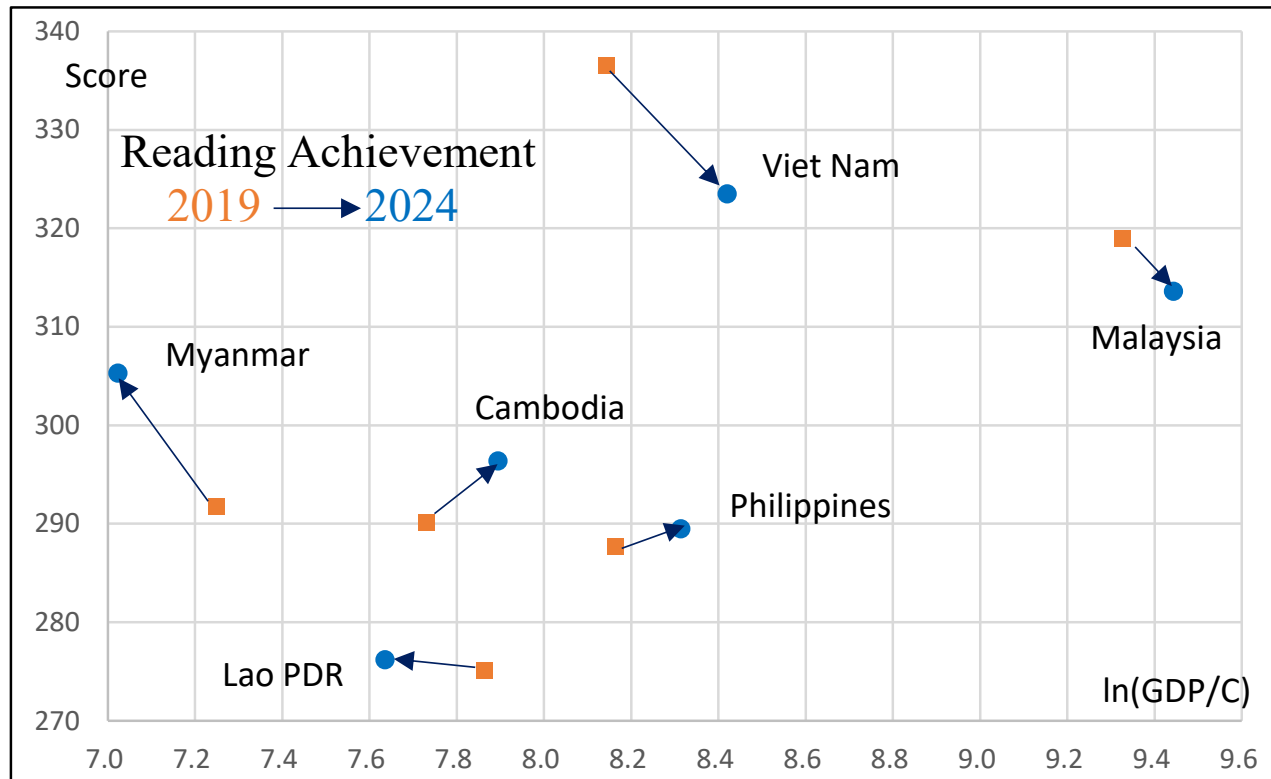
開発された1年生教科書



最近の基礎教育学年別全児童生徒数の推移(含モナステック、私学)

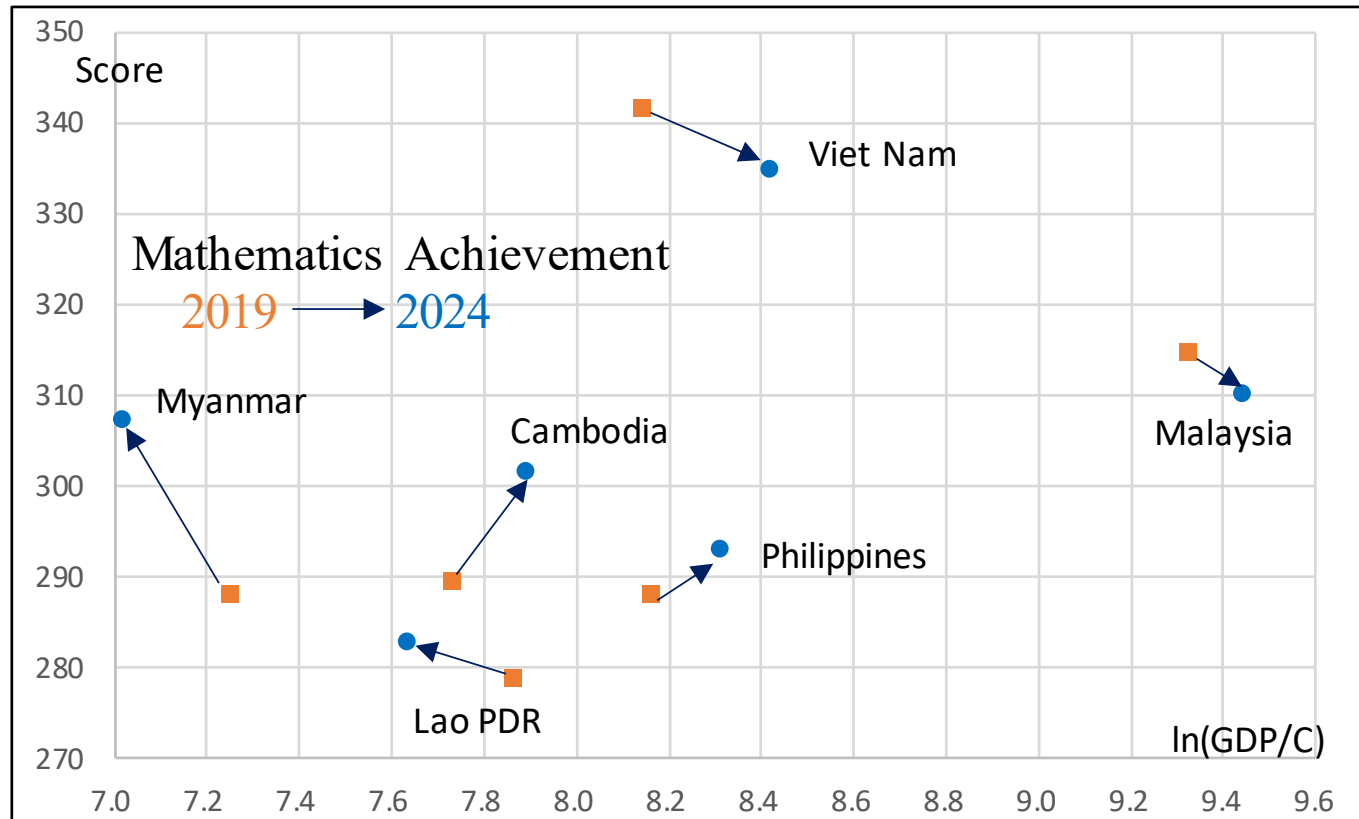


アセアン6カ国の学力 (Grade5) (SEA-PLM読解力)



ミャンマーの得点変化の75%はカリキュラム改革によると推定される。

アセアン6カ国の学力得点 (Grade5)の学力(算数)



ミャンマーの得点変化の82%はカリキュラム改革によると推定される。

まとめ

- 基礎教育学校の在籍者率（現実の在籍者数/在籍者数の傾向値）は全国平均で小学校課程8割台、中学校課程6割台、高校課程4割台、全体7割台。
- 教育課程が高いほど、在籍者率が低い。さらに、州/管区別の差が大きい。
- 2025/26年の全基礎教育学校登録者数は7,240,771名。増加傾向。
- SEA-PLMの学力調査結果から、GDP/Cに比してG5の児童は学力が高い。マレーシアを少し下回る程度。
- 2023/24年から84地区、85校の高校課程で工業、農業、畜産の職業プログラムを開始。2026年3月に特別なマトリキュレーション試験実施（受験者数3,364）。
- 高校課程を中心に私立学校在籍者が増加。州/管区による違いが大きい。
- 2024年に新Grade12が卒業。5・4・2→KG+ 5・4・3
- NESP(National Education Strategic Plan)2021-30では中学校義務化を視野。以前はNESP2016-2021。

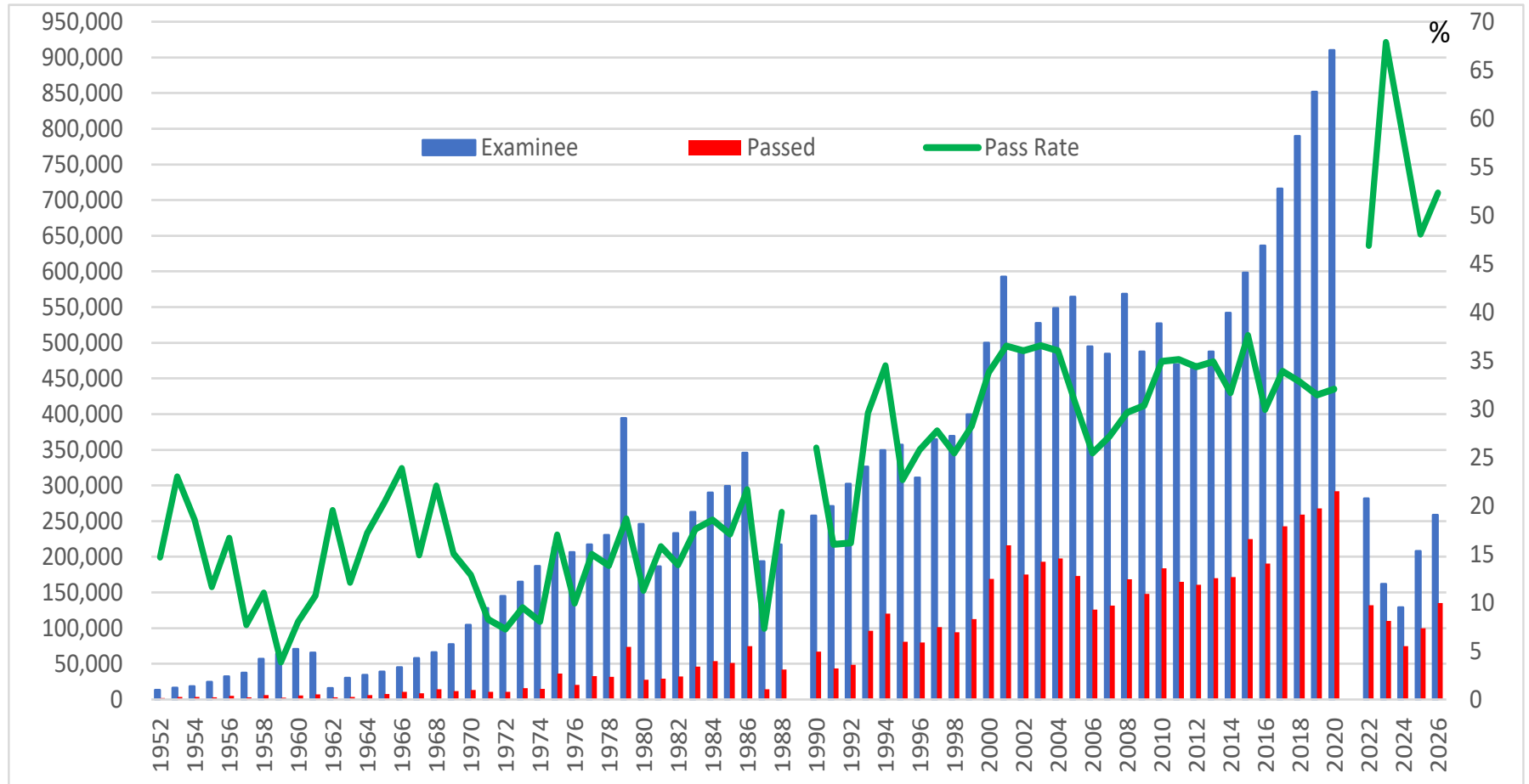
マトリキュレーション試験

意味づけ： 1. 高校課程修了認定→（2019/20年卒業者から個別学校認定）

2. 大学入学資格認定

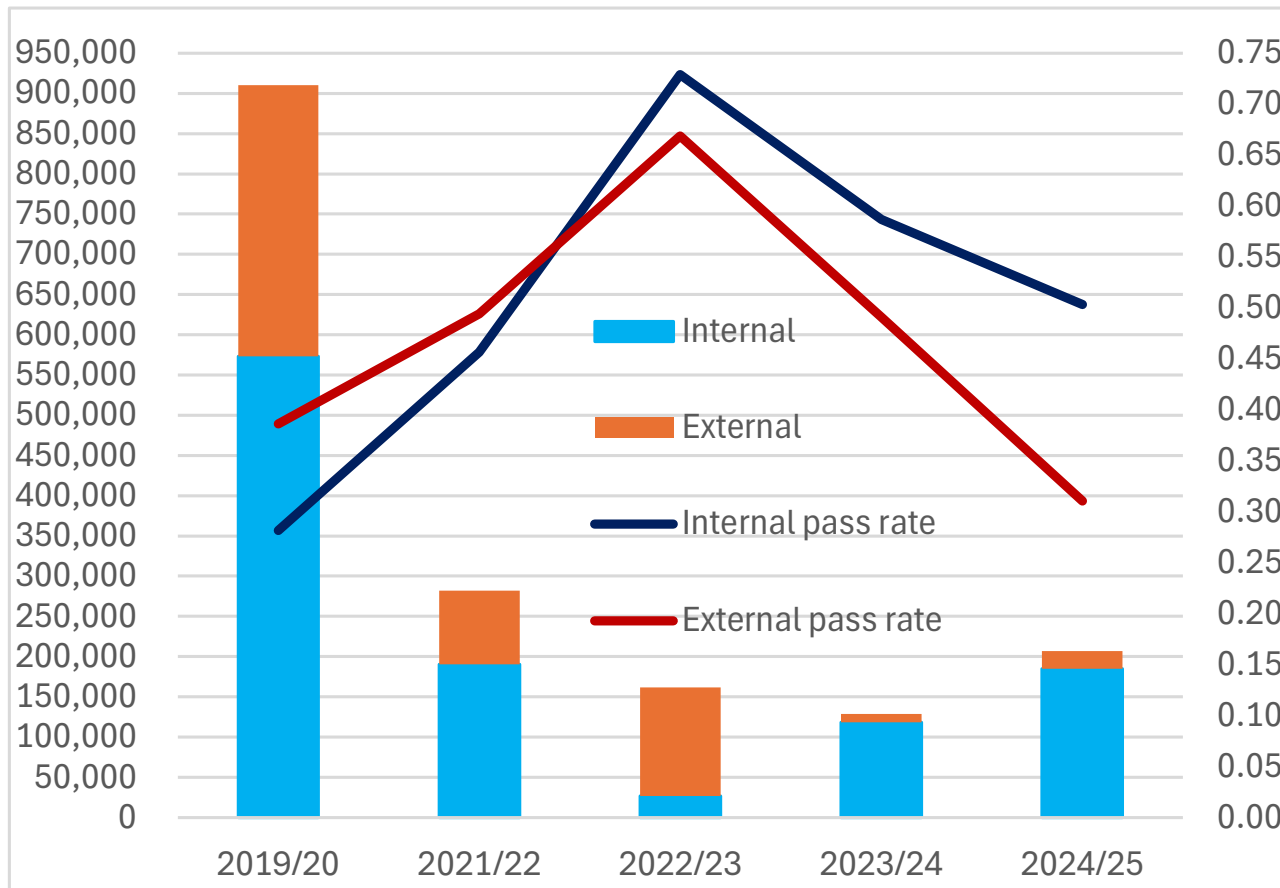
- **10科目**：ミャンマー語、英語、数学は必修。物理、化学、生物、地理、歴史、経済、選択ミャンマー語（**2023年まで**）の選択科目から**3科目**選択。各科目**100点満点**で**40点以上**でその科目合格。**6科目**すべて合格するとマトリキュレーション試験合格。
- **1科目**でも不合格だとマトリキュレーション試験不合格となる。次年度以降再受験可能。一度マトリキュレーション試験合格となれば再受験できない。
- **2024年**のマトリキュレーション試験は新カリキュラム（**Grade12** まで）対応。旧カリキュラム（**Grade11**まで）履修者は自己責任において新カリキュラムを学習し、受験可能。
- 数学、物理、化学は**80点以上**、他の科目は**75点以上**で**D(Distinction)**が授与される。**D**の数が多いと各種表彰の対象となる。
- 各大学への進学は入学希望大学の個別の審査による。
- **2026年**より職業コースの学生対象に**Industrial-Agricultural-Livestock Matriculation**開始。

マトリキュレーション試験受験者、合格者、合格率の推移



注：2026年は職業マトリキュレーション試験を含む。

内部／外部別受験者の合格率



Internal:受験時に高校課程（最終学年）に在籍中

External:受験時に高校課程に在籍していない

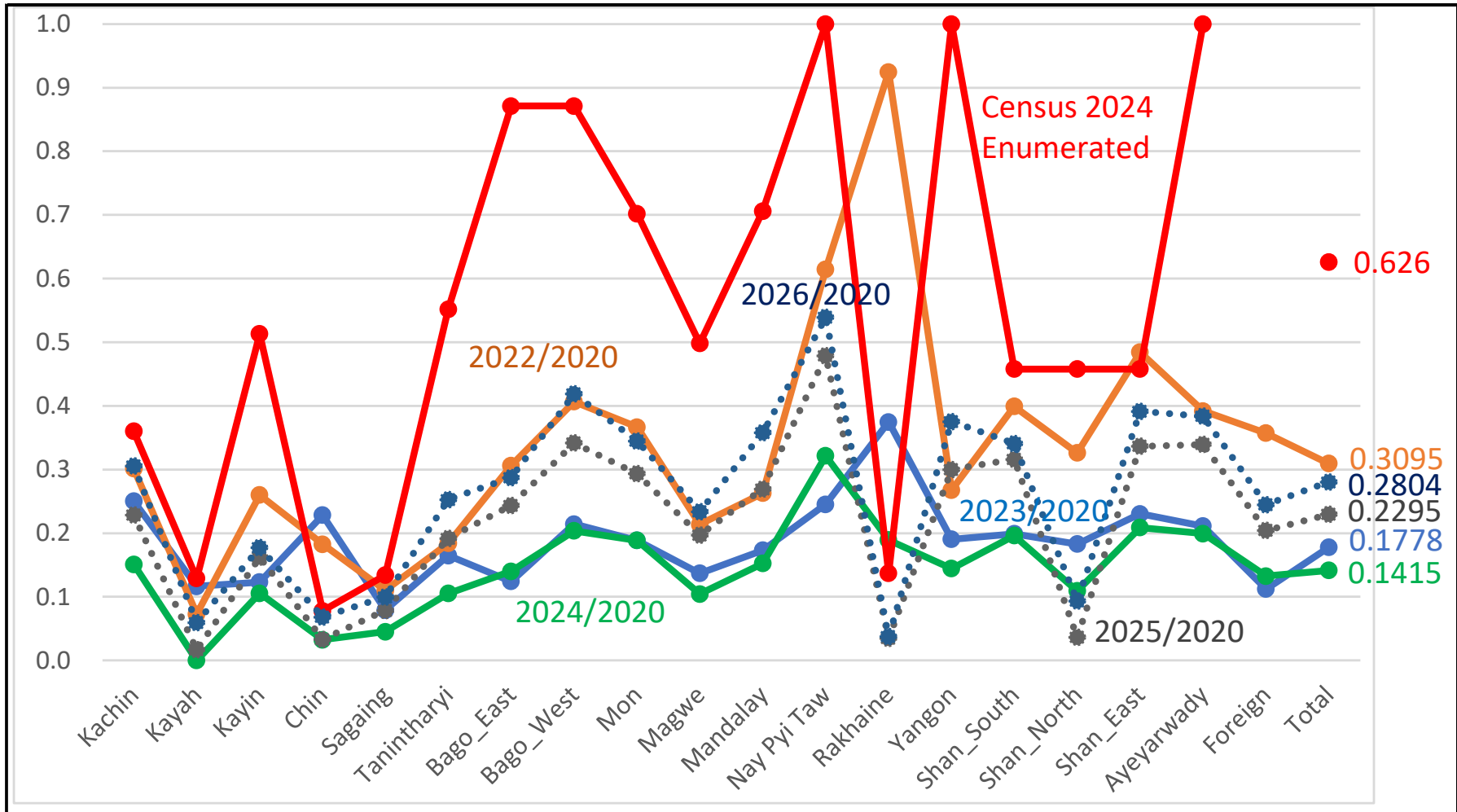
内部受験者の割合が高くなってきた。

内部受験者の合格率が高くなってきた＝内部受験者の学力向上

マトリキュレーション試験受験者の減少と合格率の向上

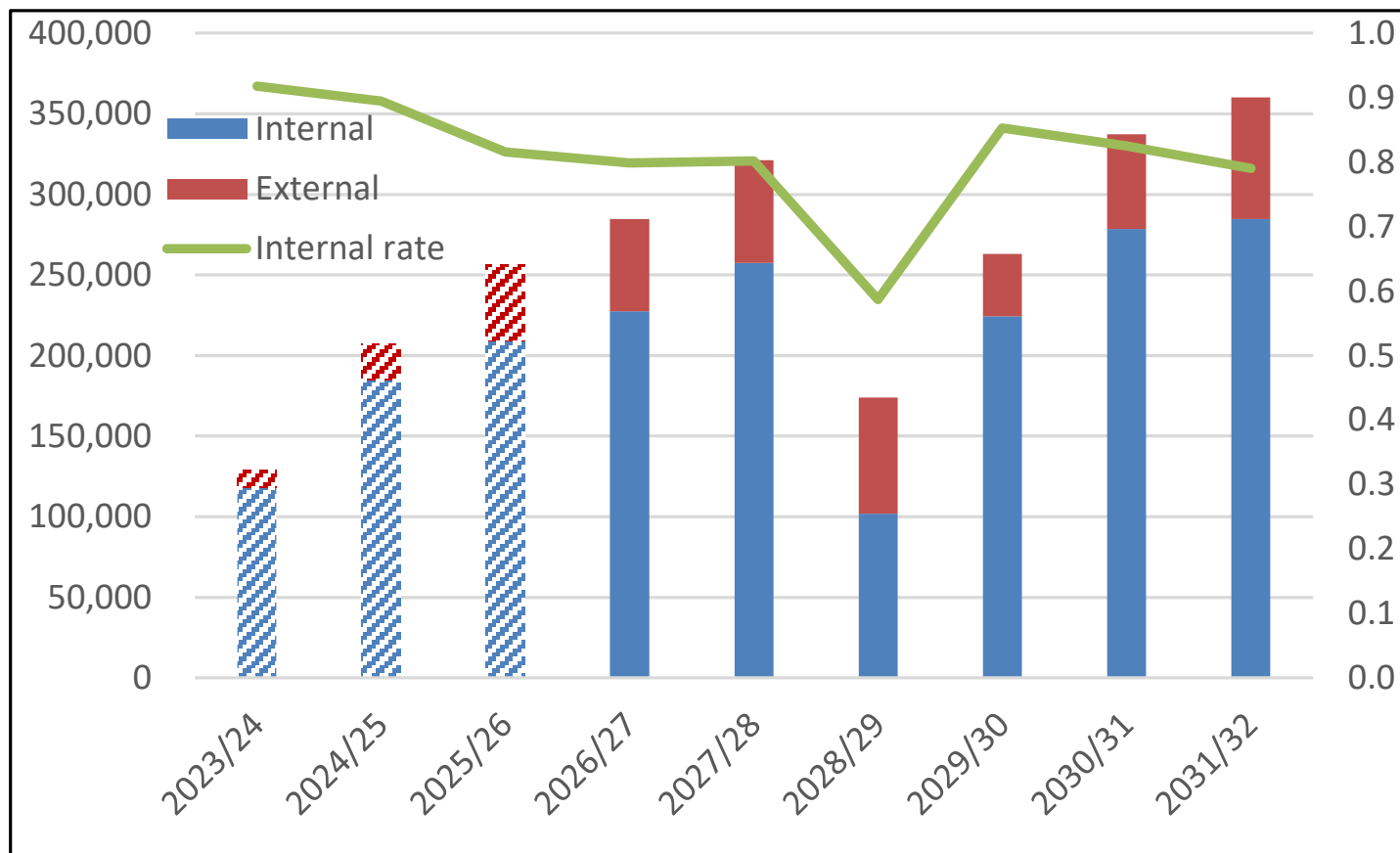
- 2020年3月の受験者数は910,229名。合格率**32.06%**。
- 2021年3月はCOVID-19のため試験は中止。
- 2022年3月は受験者数281,741；対2020年**31%**。
合格率**46.88%**。合格者のみ対2020年**45%**。
- 2023年3月はカリキュラム改革のため、旧課程履修者にとって最後の受験機会。外部受験者83%。受験者数161,851；対2020年**18%**。外部受験者対2020年**40%**。合格率**67.87%**。
- 2024年3月はG12生初受験。内部受験者率**92%**。
- 2025年3月は受験者数206,912（対2020年**23%**）。内部受験者89%：内部受験者合格率**50%**。
- 2026年3月は受験者数**255,228+3,364**（対2020年**28%**）

マトリキュレーション試験受験者の 減少からみる地域格差



州/管区による差が大きい。

マトリキュレーション試験受験者数の推移予測図



仮定:Grade12は直近の学年間推移率により推定
 Grade12の97%が受験(2026年実績)
 合格率は50%
 不合格者の45%が次年度Externalとして受験

科目コンビネーション

理系：C7

ミックス：C1、C5、C8

文系：C2

	Myanmar	English	Mathematics.	Physics	Chemistry	Biology	Economics	Geography	History	Optional Myanmar
C1	○	○	○	○	○		○			
C2	○	○	○				○	○	○	
C3	○	○	○					○	○	○
C4	○	○	○				○		○	○
C5	○	○	○	○	○				○	
C6	○	○	○	○	○					○
C7	○	○	○	○	○	○				
C8	○	○	○	○	○			○		

注：選択ミャンマー語の受験者は全国で一桁とごく少数。2024年からなし。

科目コンビネーション別G11生(2019)

ミックス：C1、C5、C8

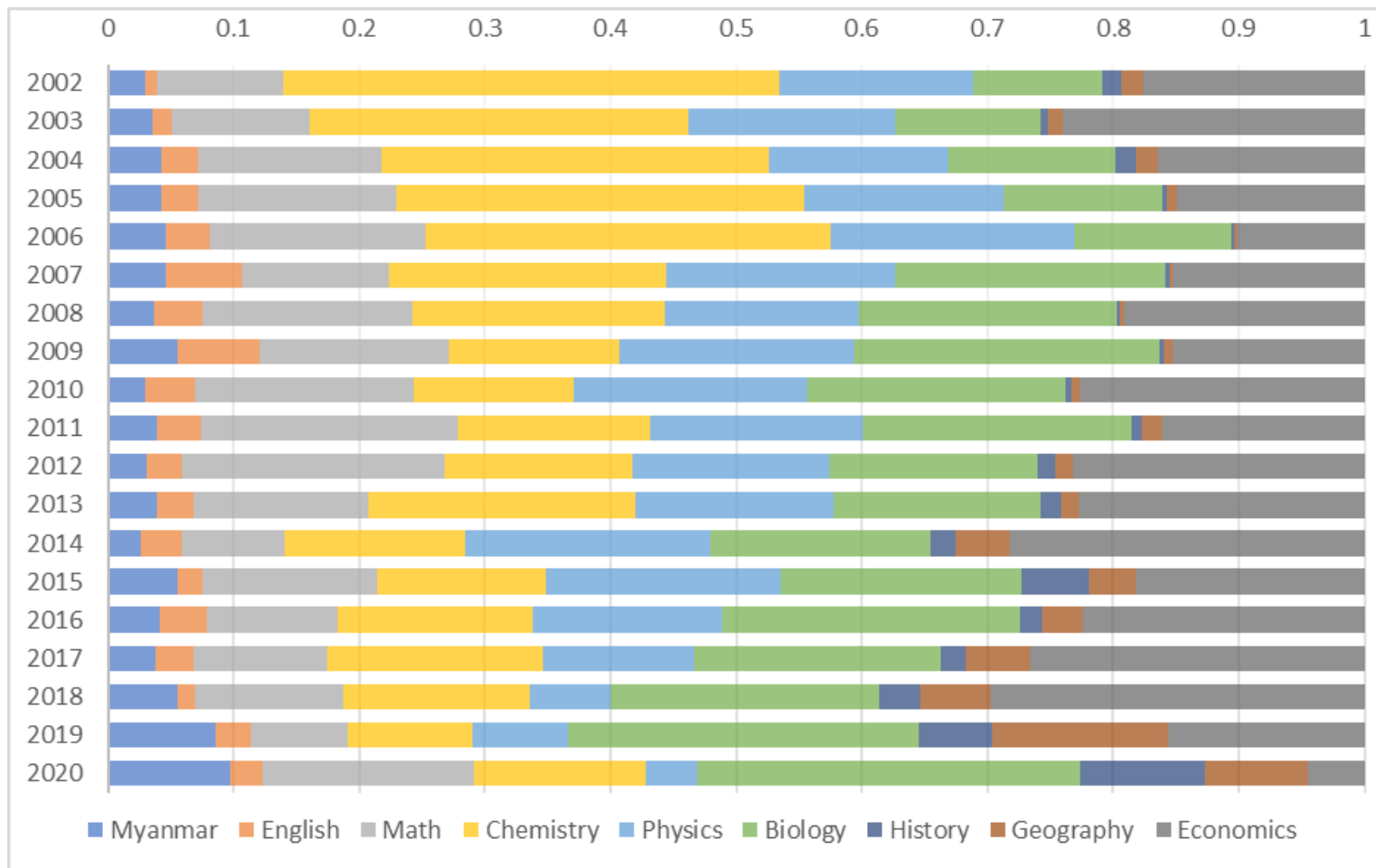
文系：C2

理系：C7

Combination	Male					Female				
	1	2	5	7	8	1	2	5	7	8
Kachin	61.27	30.28	0.00	7.12	1.33	63.75	23.79	0.00	11.35	1.11
Kayah	29.10	59.16	0.00	8.23	3.50	34.91	48.39	0.00	13.71	2.99
Kayin	70.35	18.97	0.00	9.91	0.76	67.81	19.19	0.00	12.17	0.83
Chin	41.71	42.96	0.00	15.33	0.00	41.73	36.90	0.00	21.37	0.00
Sagain	48.63	30.13	0.24	19.73	1.28	46.23	27.44	0.34	24.60	1.39
Taninthari	84.93	8.68	0.00	6.39	0.00	86.29	6.62	0.00	7.09	0.00
Bago(East)	67.51	14.74	0.09	17.66	0.00	65.38	12.68	0.08	21.85	0.00
Bago(West)	71.04	19.71	0.00	9.24	0.00	68.11	17.73	0.00	14.16	0.00
Magway	62.58	18.60	0.00	18.83	0.00	58.28	16.13	0.00	25.59	0.00
Mandalay	62.72	10.16	0.06	26.98	0.08	57.15	8.48	0.04	34.15	0.18
Mon	75.11	8.28	0.00	16.61	0.00	72.67	7.99	0.00	19.35	0.00
Rakhine	65.92	15.97	0.00	15.57	2.54	69.71	15.53	0.00	12.21	2.55
Yangon	61.12	15.25	0.00	23.58	0.05	56.86	10.53	0.01	32.50	0.09
Shan(South)	63.40	14.22	0.00	22.33	0.05	61.09	10.51	0.00	28.26	0.14
Shan(North)	59.95	18.92	0.00	21.12	0.00	60.89	13.88	0.00	25.23	0.00
Shan(East)	80.27	6.67	0.00	13.06	0.00	78.72	5.17	0.00	16.11	0.00
Ayeyawady	38.93	54.71	0.00	6.29	0.07	39.30	51.31	0.00	9.36	0.03
NayPyiTaw	62.93	24.28	0.74	12.00	0.04	64.39	18.14	0.56	16.90	0.00
Total	58.72	23.94	0.06	16.88	0.40	57.18	21.12	0.06	21.23	0.41

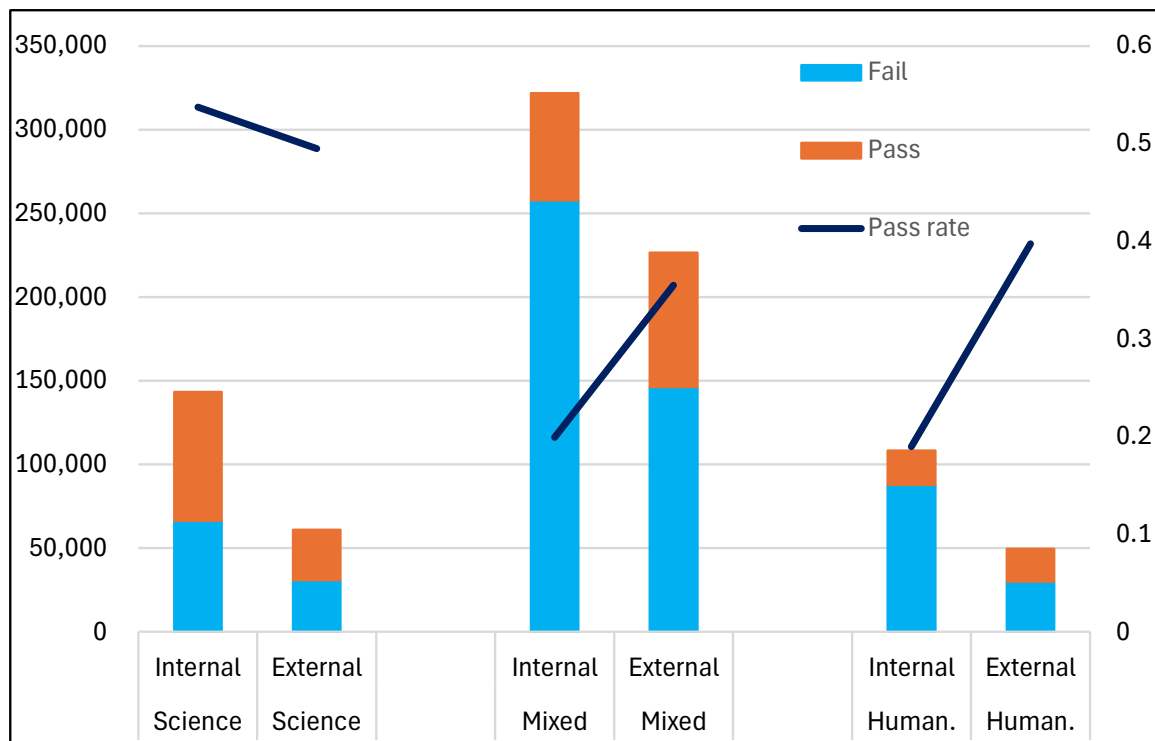
Source: Individual School Data (2019): Male 222,344 Female 279,386

Distinction授与数の科目別内訳



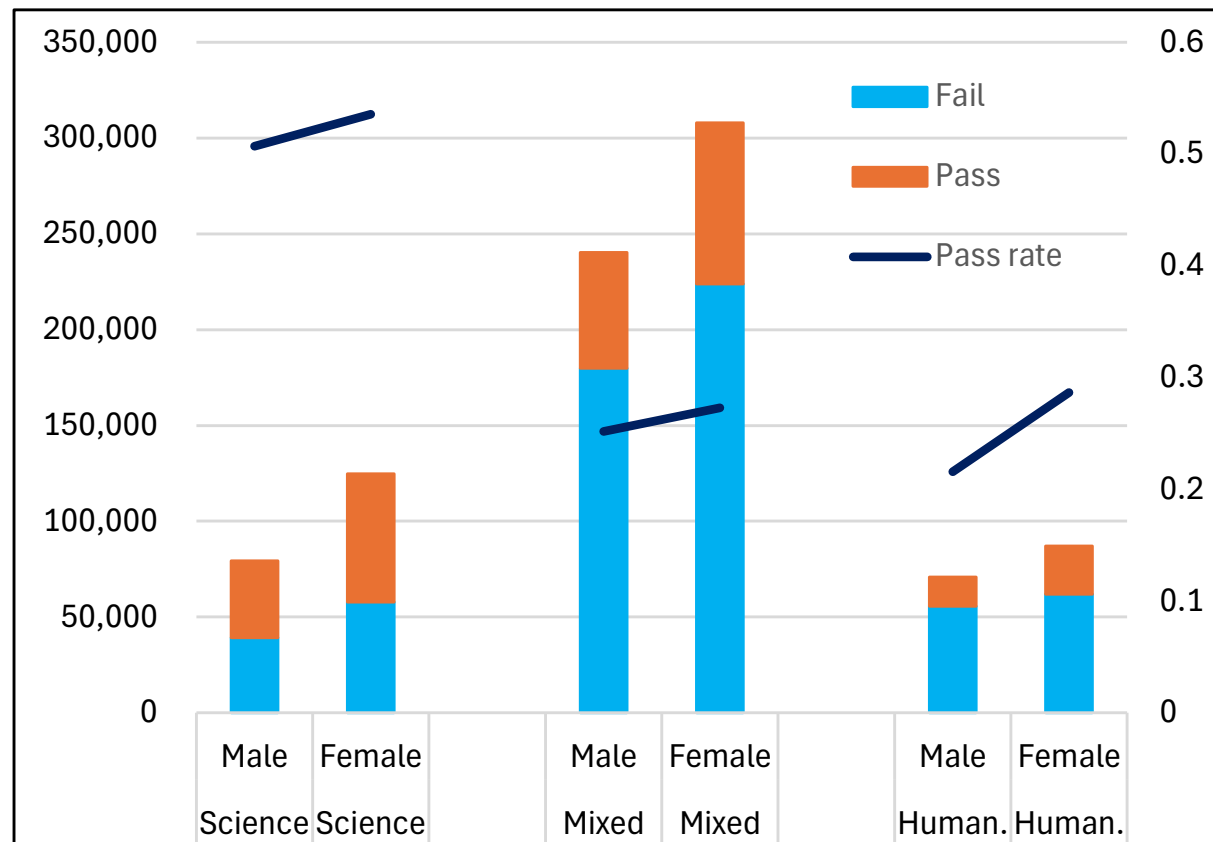
理系科目でDの授与数が多い。

科目コンビネーションと内部/外部受験者(2020)



理系は合格率が高い＝優秀な生徒が多い。
 理系は内部受験者の合格率が高い。他は逆。
 複合系の受験者が多い（物理、化学は専攻している）。

科目コンビネーションとジェンダー(2020)



全受験者に占める女子比率は57.1%。
 全合格者に占める女子比率は60.2%。
 理系合格者に占める女子比率は62.4%。

マトリキュレーション試験受験者情報

- 2020年受験者

内部受験者:(同一年齢層の約半分)

合格ラインから少し低い平均 223.3

高得点から低得点まで幅広く分布 111.9 (SD)

外部受験者:

合格ラインぎりぎりの平均 243.2

狭い範囲で分布 81.6 (SD)

- 内部受験者を用いた偏差値換算

$(\text{得点} - \text{平均値}) / \text{標準偏差} * 10 + 50$

600点満点中 240点 = 偏差値51

350 = 61

460 = 71

500 = 75

科目間相関(内部/外部受験者2020)

- 数学（1種類）が必修：含（微積分、ベクトル・行列、確率・統計、代数幾何、三角関数、複素数、順列組み合わせ、など）
- 選択科目として高得点が取れる理系科目が好まれる
- 高校の理数系科目の教授言語は英語、大学の公式教授言語は英語

	Myan	English	Math	Chem	Physics	Biology	Geogra	History	Econom
Myanmar									
English	0.7971								
Mathematics	0.6963	0.8223							
Chemistry	0.7617	0.8650	0.8617						
Physics	0.7470	0.8512	0.8621	0.9081					
Biology	0.7505	0.8278	0.7777	0.8608	0.8435				
Geography	0.7901	0.7838	0.6948						
History	0.7544	0.7231	0.6189	0.6308	0.5750		0.8101		
Economics	0.7954	0.8081	0.7400	0.8158	0.8057		0.8325	0.8089	

- 計算対象が100以下は無表示
- 最大計算対象 403,796
- 相関係数0.8以上にハイライト

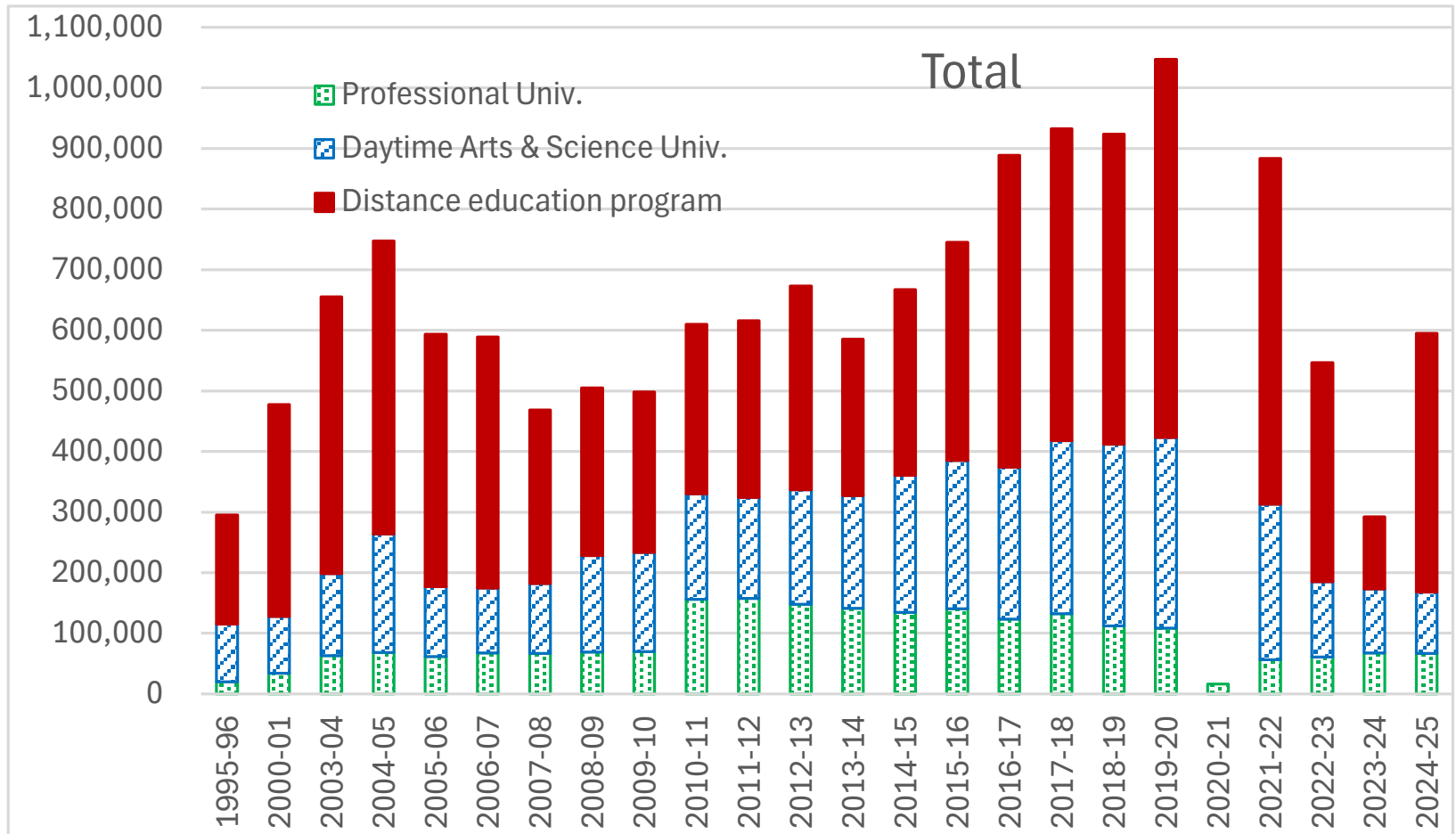
まとめ

- 政変でマトリキュレーション試験受験者が激減したが、合格率は上昇し、合格者数の低下は抑えられた。
- 内部受験者と外部受験者を比較すると、政変後は内部受験者の割合が増えた。
- 受験者、合格者の女子比率はそれぞれ57%、60%、理系に限れば62%。(2020)
- 受験科目の組み合わせ：受験者全体で理系22.4%、文系17.3%、複合系60.2%。複合系でも物理、化学は学習。州/管区による違いは大きい(2020全国)。
- 合格率は理系が最も高い。
- 内部受験者の割合が高くなる傾向。
- 受験者数は回復傾向にあり、2027年には受験者は2022年の値を超えられる。

「大学の種類」（統計局分類に基づく）

- 専門大学
 - 医学、工学、農学、商船、経済、教育、芸術など
- 非専門大学
 - 昼間課程（キャンパス・ベース）
 - アーツ & サイエンス大学
 - 仏教系
 - 遠隔課程：教育省管下42大学（含3経済大学）

大学種別学生総数



ပြည်ထောင်စုသမ္မတမြန်မာနိုင်ငံတော်အစိုးရ

ပညာရေးဝန်ကြီးဌာန

ミャンマー連邦共和国
教育省

တက္ကသိုလ်ဝင်ခွင့်စိစစ်ရွေးချယ်ရေးအဖွဲ့

(အဆင့်မြင့်ပညာဦးစီးဌာန)

大学入学者選抜委員会
(高等教育局)

တက္ကသိုလ်ဝင်ခွင့်လမ်းညွှန်

大学入学ガイド

(၂၀၂၃ ခုနှစ်၊ တက္ကသိုလ်ဝင်စာမေးပွဲအောင်မြင်သူများအတွက်)

2023年マトリキュレーション試験合格者対象

၂၀၂၃ ခုနှစ်၊ ဇူလိုင်လ

「大学入学ガイド」(2025年版)の主な内容

- 教育省高等教育局管下の「大学入学者選抜委員会」
が統一的にマトリキュレーション試験合格者を配分
(軍、宗教関係など特殊な大学は除く)
基準：各大学の要件を満たした者の中から (1.希望順位 + 2.得点)
- 9省管下の159大学 (Degree college以上) について入学要件情報を記載

保健省管下：医科大学、歯科大学、看護大学、医療技術大学など15校

科学技術省管下：工科大学、技術カレッジ、コンピュータ大学など56校

教育省管下：経済大学、外国語大学、教育大学、教育学位カレッジ、アーツ & サイエンス大学など75校

その他6省管下：13校

注：

- 総合大学はNSA (Naypyitaw State Academy) のみ。教育省 +
- 大学院のみの大学など学士号以上を出すその他の大学等を併せると、12省管下、167大学。

出願・合格条件

- 国立大学は同格、同質という前提。
- 各大学は基本的に、専門ごとに、キャッチメントエリア（出願可能地域）が設定。国のための人材育成。

どの地域にもあるような専門分野であれば

キャッチメントエリアは州/管区などと狭い。

全国的にあまりないような専門分野であれば、

キャッチメントエリアは広い。

- 例外的に、COE（Center of Excellence）に指定されている大学は、キャッチメントエリアがない。→全国から入学できるための合格の為の点数は高い。
- 当該年度の合格は第一の重要な選抜基準：
違う年度のテスト得点を比較して合否を決めることはできないとの趣旨。
- 入学志願者が少なければ、過年度合格者が入学することは可能であるが、合否判定上の優先順位は低い。
- 転校は可能

大学ごとの入学願書提出条件・合否判定の例(2023)

大学種類	男	女	出願要件		
			6科目	必修選択科目	合否判定
地質・鉱物学専攻（Arts & Science大学）	90%	10%			6科目合計+20マイル歩行、色弱不可
イエジン森林環境大学	80%	20%	360	物理、化学、生物	6科目合計+20マイル歩行
地域保健大学	80%	20%		物理、化学、生物	
ミャンマー海事大学	80%	20%	420	物理、化学	
ミャンマー航空宇宙大学	70%	30%		物理、化学	英語、数学、物理、化学の合計点；最低280
アーツ & サイエンス大学（スポーツ科学）	60%	40%		物理、化学	
歯科大学	60%	40%	450	物理、化学、生物	英語、化学、生物の合計点+インタビュー+心理検査
ネピドー工科大学	60%	40%		物理、化学	英語、数学、物理、化学の合計点；最低300
他の工科大学（各地域）	60%	40%		物理、化学	英語、数学、物理、化学の合計点；最低240~280
マンダレー工科大学	56%	44%		物理、化学	（工学・建築）英語、数学、物理、化学の合計点；最低
ヤンゴン工科大学	55%	45%		物理、化学、生物	300
医科大学	50%	50%	450	物理、化学、生物	英語、数学、物理、化学の合計点；最低300
ヤダナボンサイバーシティ大学	50%	50%	420	物理、化学	英語、化学、生物の合計点+インタビュー+心理検査
イエジン農業大学	50%	50%		物理、化学、生物	英語、数学、物理、化学の合計点；最低280
イエジン獣医畜産大学（獣医学）	50%	50%	410	物理、化学、生物	物理、化学、生物の合計点
イエジン獣医畜産大学（動物科学）	50%	50%	330	生物	
教育大学	50%	50%	350-380		科目コンビネーションにより最低点が異なる
看護大学	10%	90%		物理、化学、生物	

注：高学力を要求する大学以外の多くの大学には、申請可能な地域指定がある。

各大学のほとんどの専攻では、合格すべき（専攻の内容と関連深い）受験科目が指定されている。

医科大学、歯科大学、看護大学では、定員の一定割合以内の希望者に対し、授業料を払う代わりに任官を免除する仕組みがある。

入学定員(男女別)

- 大学、専門分野によっては定員が男女別に記載。

専門内容の特殊性によるもの

地質・鉱物専攻、海事大学、航空宇宙大学、
看護大学

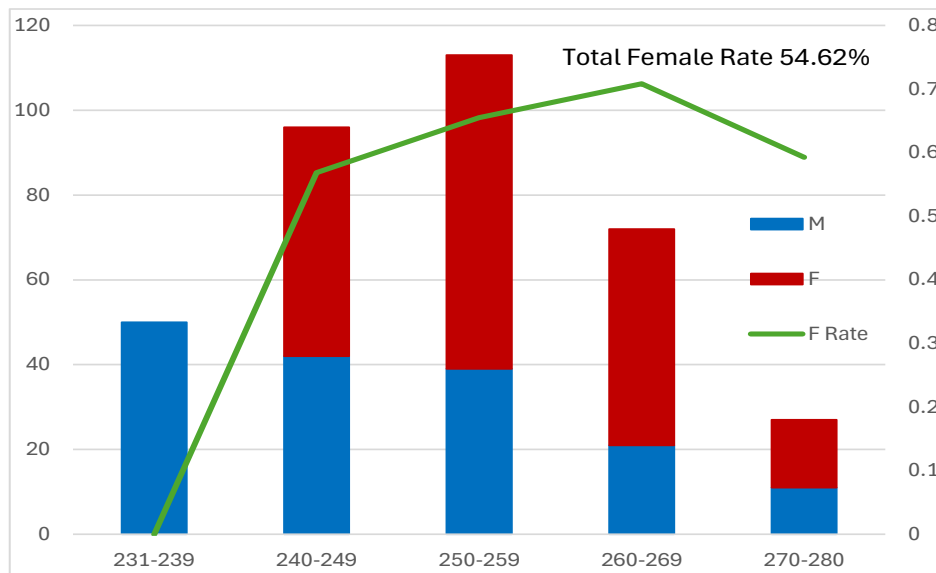
男女のバランスを問題にしているもの？

医科大学等、工科大学等

- 女子の得点が高いため、難関大学では定員が男女同数の場合、男子に10点ほどのゲタが必要。
- 定員は年によって異なる。

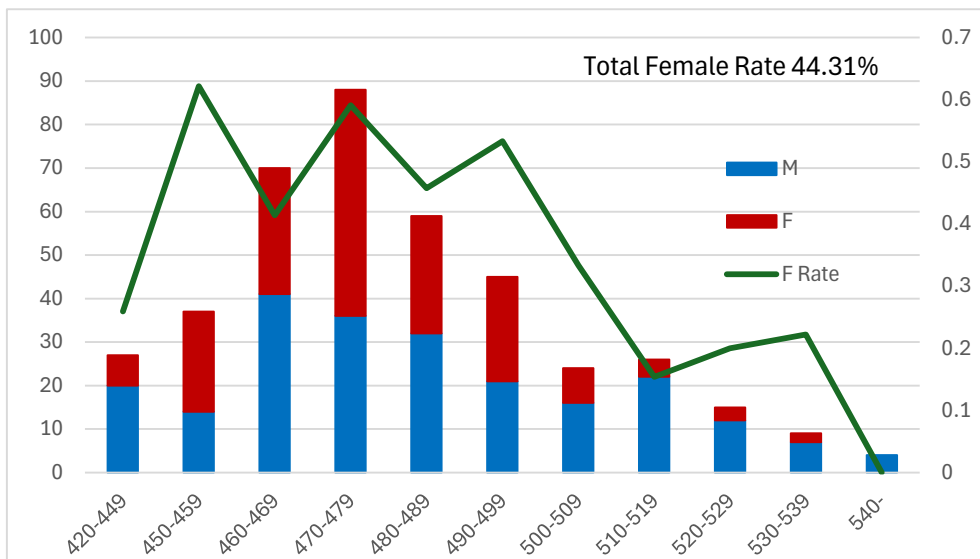
ヤンゴン第一医科大学の 男女別合格者得点分布 (2024年)

物理、化学、生物の3科目合計点で合否判定。



ヤンゴン工科大学の 男女別合格者得点分布 (2024年)

英語、数学、物理、化学4科目合計点で合否判定。
発表は6科目合計点。



出願最低点

- 6科目合計

医科大学、歯科大学 450点（国費留学生出願基準と同じ）
（合格者の上位7.0%）

現実には500点（上位1.6%）は必要

- ヤンゴン大学、マンダレー大学

専攻により360～400点

+ 代表的科目に最低点の設定

例：物理工学；6科目400点 + 物理80点

地理情報システム：6科目360点 + 数学と英語計130点

遠隔教育

- ヤンゴン遠隔教育大学(Lower Myanmar地域)、
マンダレー遠隔教育大学(Upper Myanmar地域)の2校
が実施し、アーツ & サイエンス大学などがスクーリン
グを協力



- 1大学2システム (2018)

42大学 遠隔教育部

大学と専門に応じて、キャッチメントエリアが指定

授業料(昼間)

- 教育省管下大学2025年1年生の例 (2024年以前の10倍に値上げ)

料金 (チャット)

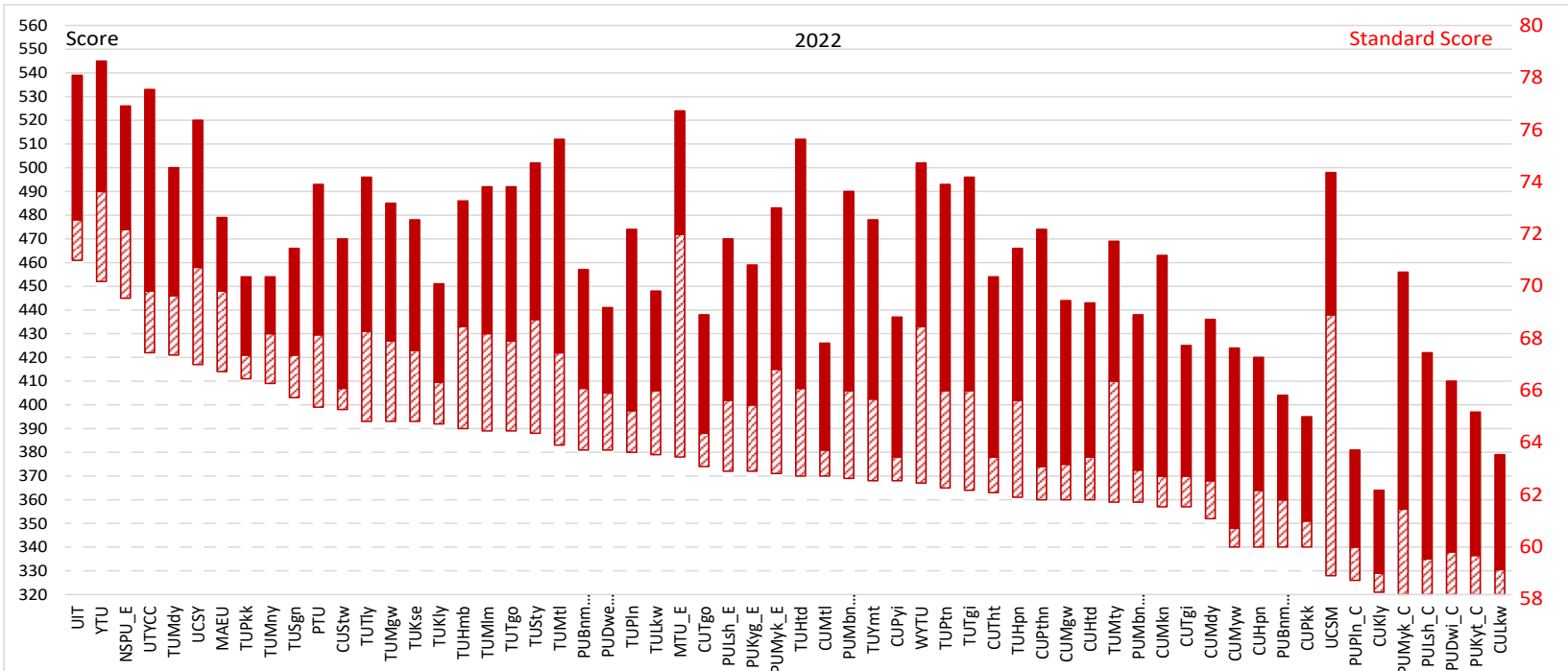
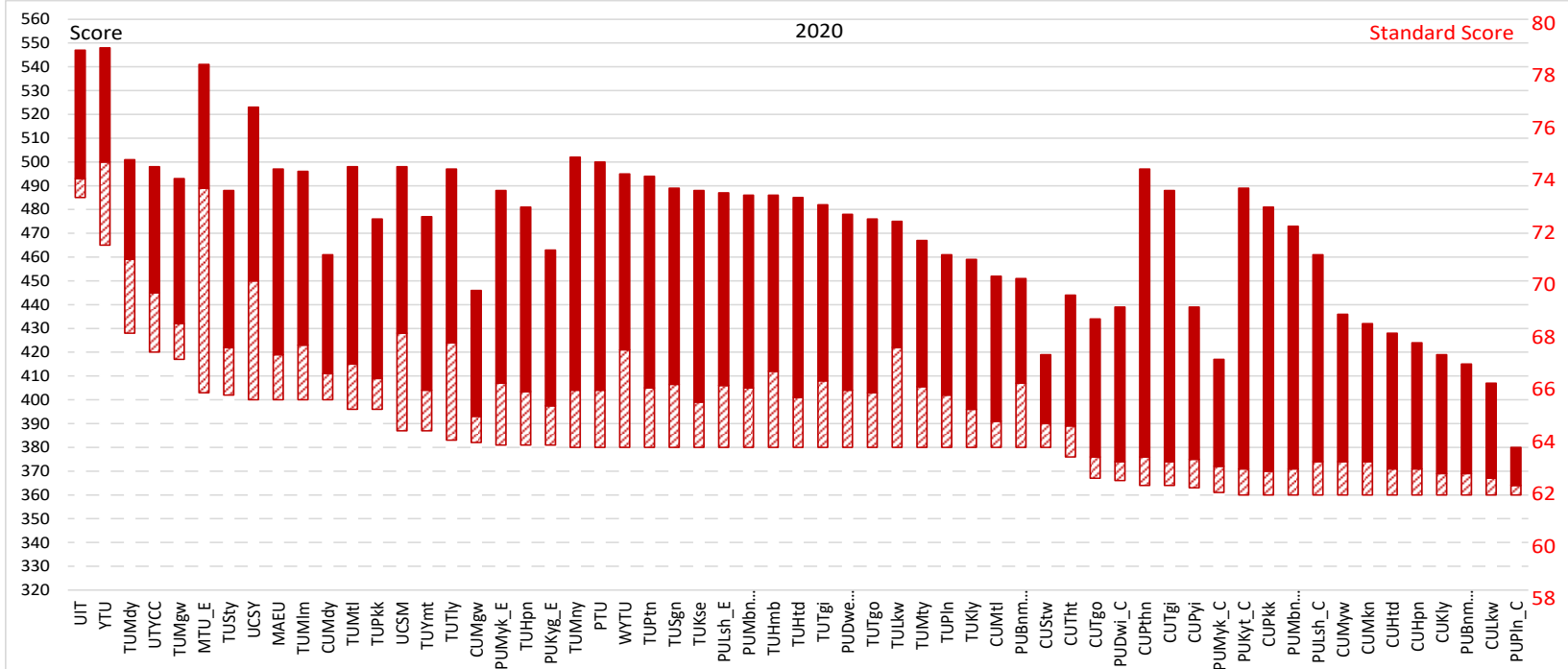
- | | |
|-------------------------|--------|
| • 1.登録料 | 2,000 |
| • 2.入学金 | 2,000 |
| • 3.授業料 12ヶ月分 (月額5,000) | 60,000 |
| • 4.スポーツ料金 | 2,000 |
| • 5.実験・検査料 | |
| (a) 理系科目用 | 6,000 |
| (b) 文系科目用 | 3,000 |
| • 6.期末試験等受験料 | 5,000 |
| • 7.図書館料金 | 5,000 |

US\$1.00=Ks3,666(2026年5月)

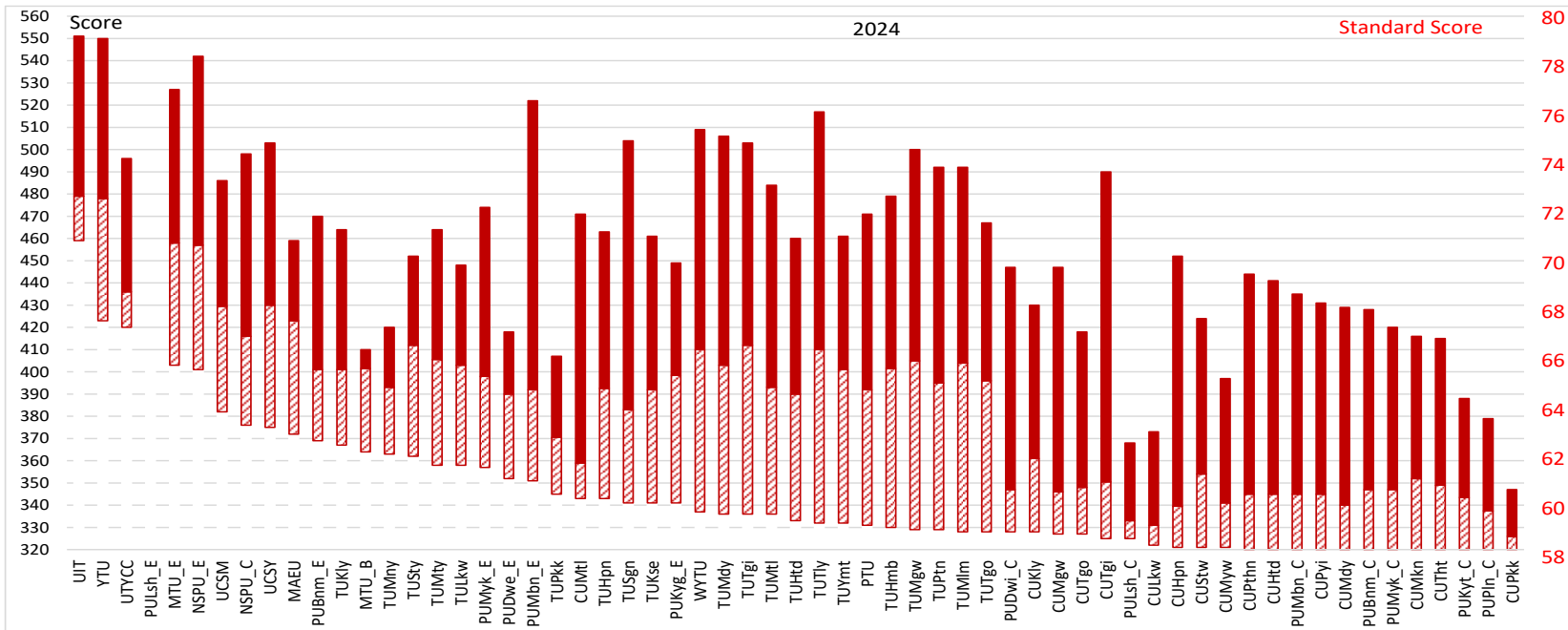
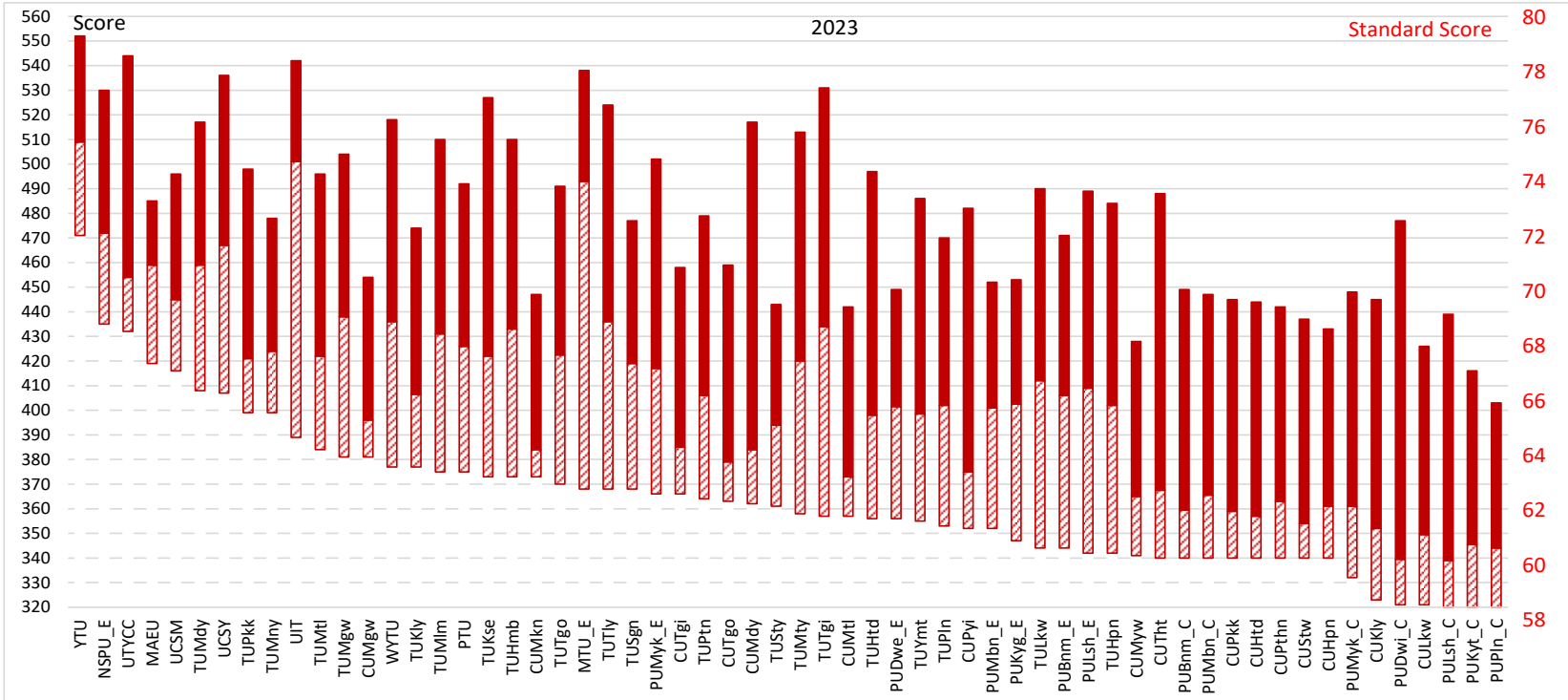
US\$ 22 程度/年

徴収コストの方が高いのでやめにした方が良いという意見もある。

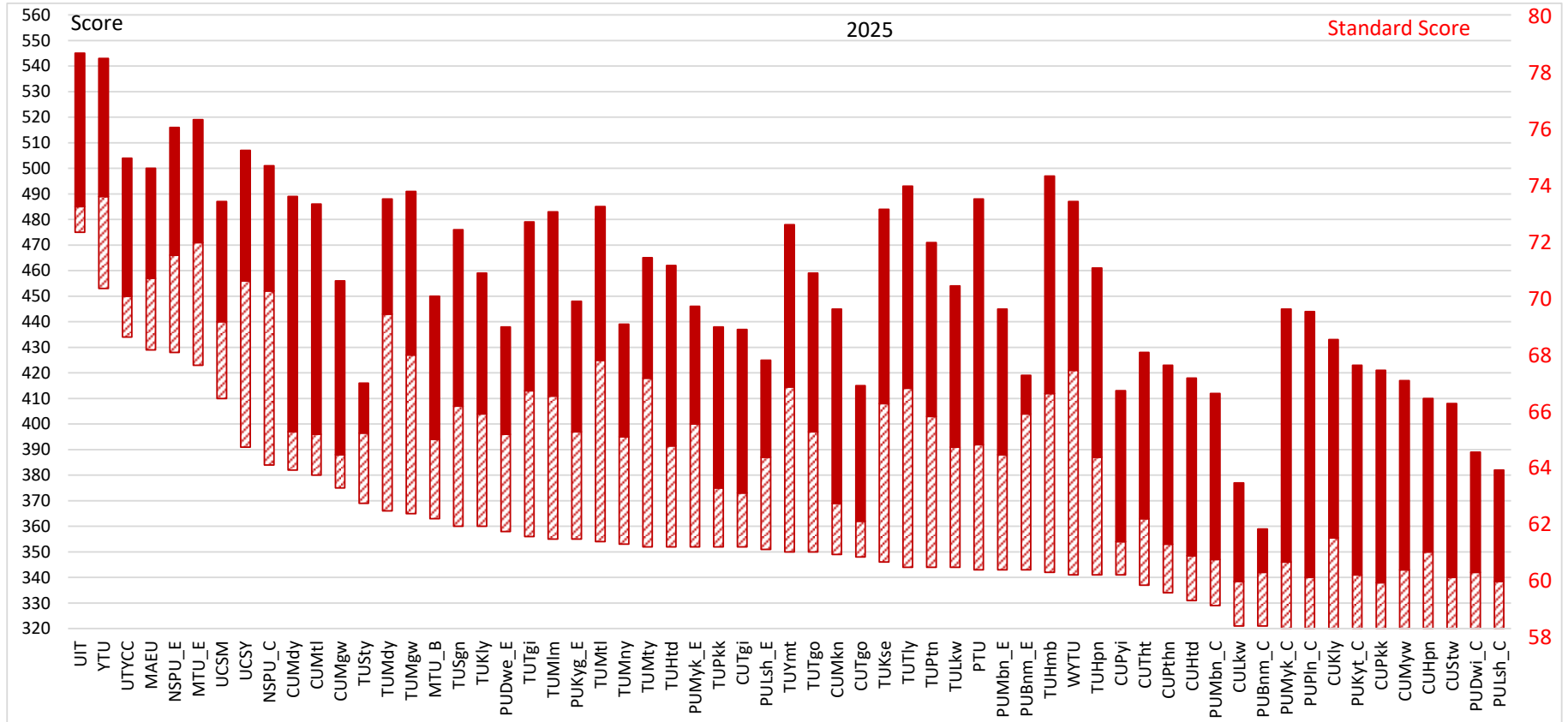
工科系大学ごとの合格者の得点分布 (最高、メディアン、最低)



工科系大学ごとの合格者の得点分布 (最高、メディアン、最低)

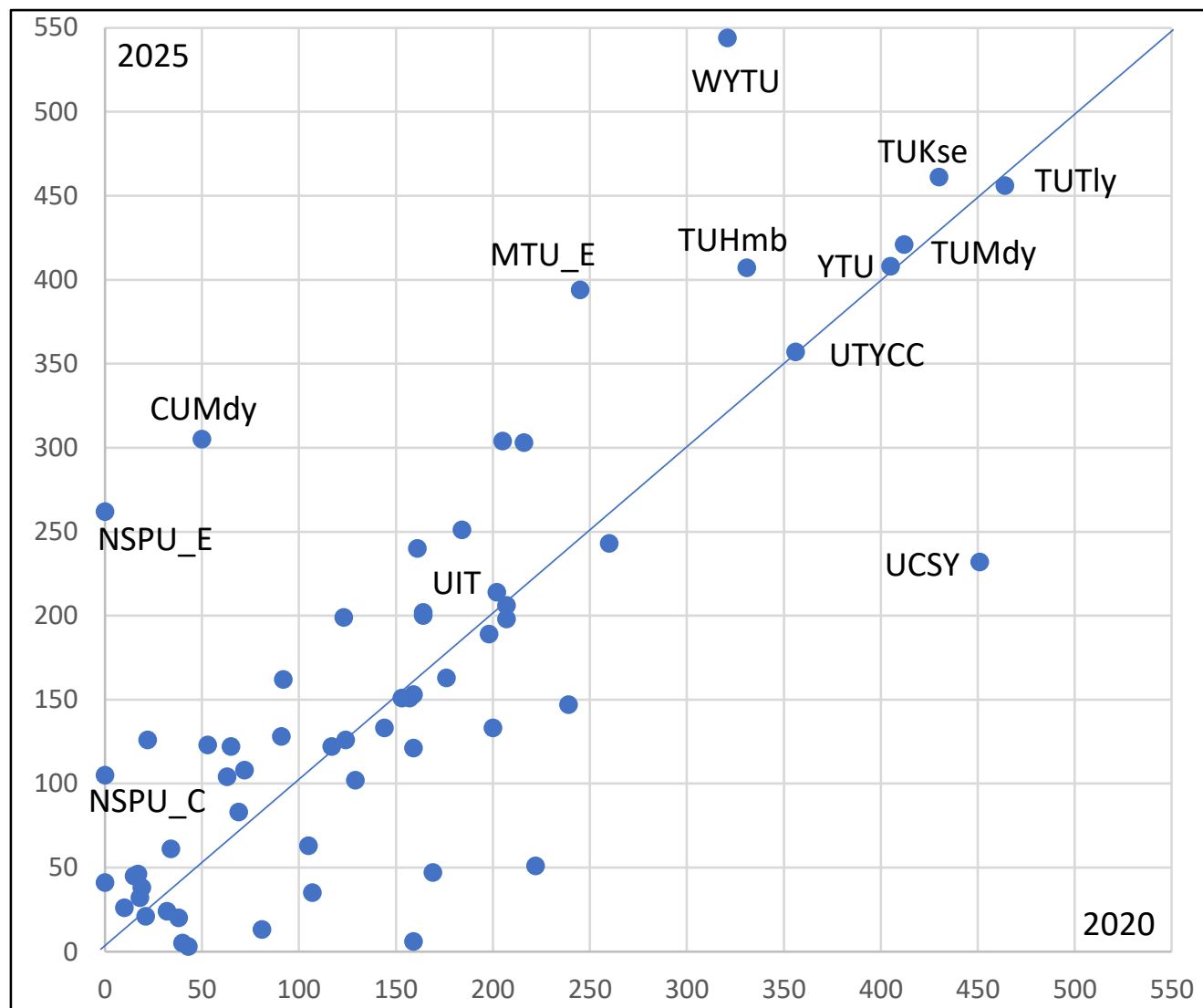


工科系大学ごとの合格者の得点分布 (最高、メディアン、最低 2025年)



合格者の最低点数が上昇傾向

工科系大学別合格者数比較(2020年と2025年)

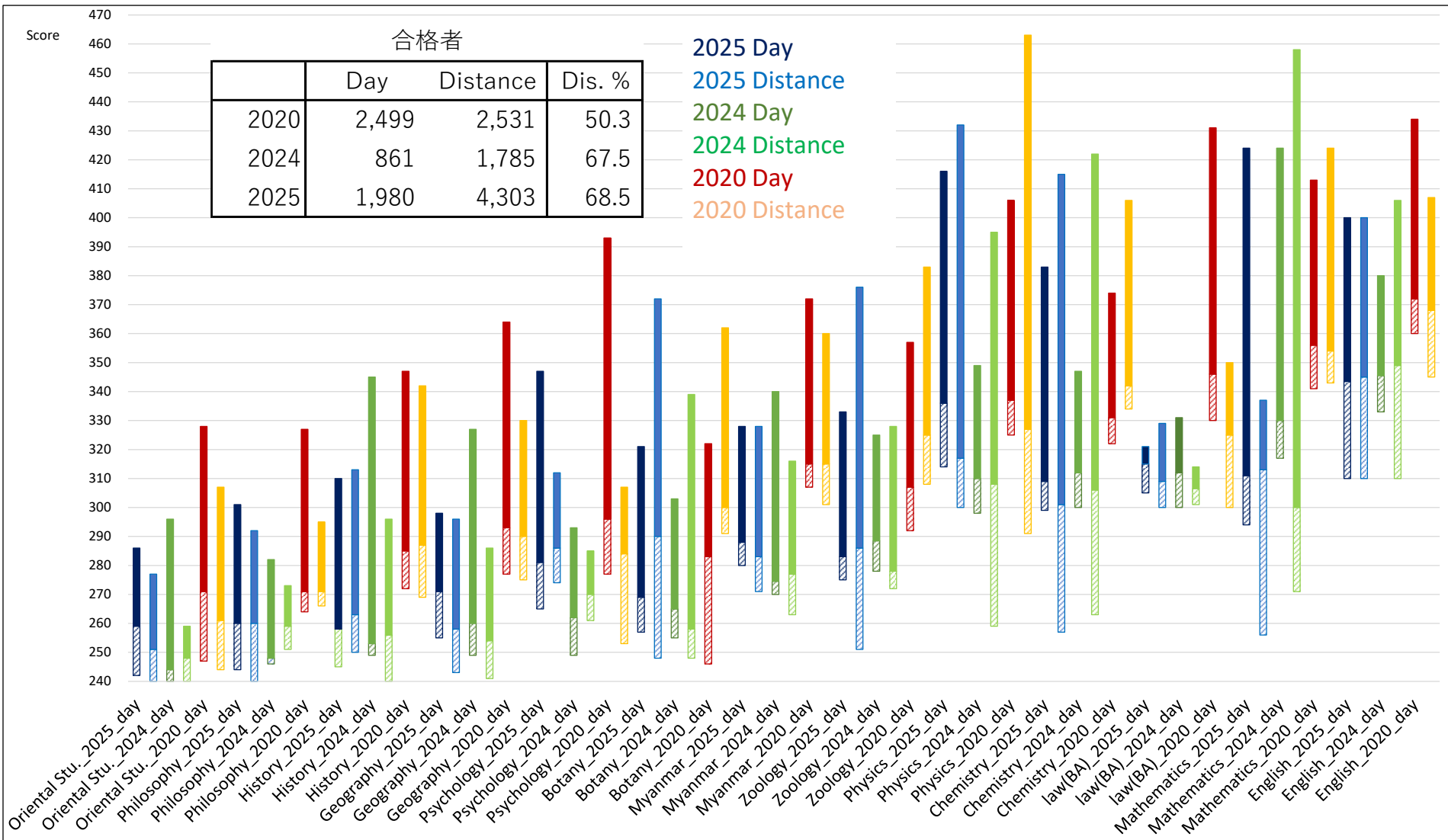


ヤンゴン大学学科別合格状況

Subject	2020	2024	2024	2024	2024	2025	2025	2025
	Standard	Standard	Lowest	Capacity	Admitted	Highest	Lowest	Admitted
1 Myanmar Language	400	350	342	100	8	412	340	28
2 Myanmar Arts	400	350		100				
3 English	450	400	403	100	16	490	372	102
4 Geography	360	360		100		343	337	2
5 Environmental Studies	400	360	365	100	2	359	358	2
6 History	350	350	341	100	1	337	326	3
7 Philosophy	360	350	359	50	2	335	322	3
8 Psychology	400	350	341	50	14	383	322	24
9 Oriental Studies	360	350	359	100	2	333	333	1
10 International Relations	470	400	404	100	19	454	370	100
11 Political Science	420	360	362	50	6	384	350	9
12 Anthropology	420	350	357	100	1	304	301	2
13 Archaeology	380	360	363	50	2	407	323	7
14 Library Science	360	360	361	50	2	329	316	2
15 Law	430	400	405	100	17	494	360	101
16 Chemistry	400	370	350	100	19	437	350	34
17 Biochemistry	400	370	371	50	2	422	364	14
18 Applied Chemistry	400	380	374	80	9	433	363	34
19 Physics	380	380	364	100	8	462	352	101
20 Mathematics	400	370	353	100	19	486	351	37
21 Zoology	400	360	362	100	5	451	330	20
22 Botany	380	360	362	100	3	382	340	10
23 Microbiology	400	360	369	100	4	428	350	7
24 Geology	400	360	352	100	7	388	332	23
25 Computer Science	450	360	377	50	50	473	385	50
26 Fisheries	420	360	370	50	3	366	320	16
27 Hydrology		360	342	50	4	369	327	20
28 Geographic Information		360	369	30	5			
29 Engineering Physics		400	405	50	2	448	351	51
30 Applied Entomology		360		50				
31 Environmental Science		360	363	50	3	437	368	8
32 Food Science		360	347	50	11	439	351	19
Total				2,460	246			830

新入生数	
2017	1,628
2018	1,367
2019	1,021
2020	0
2021	1,331
2022	963
2023	471 合
	330 入
2024	246 合
	294 入
2025	830 合

ダゴン大学合格者の学科別最低、メディアン、最高得点の分布



ヤンゴン経済大学合格者の変化

		2020	2024	2025
Hlaing Campus (Day, COE)	Number	704	426	726
	Capacity	640	720	-
	Highest	528	506	496
	Median	444	405	408
	Lowest	420	380	386
Day Ywa Tha Gyi Campus	Number	995	398	1,071
	Capacity	1,600	1,350	-
	Highest	481	457	465
	Median	397	368	367
	Lowest	380	350	350
Distance Economics	Number	170	628	680
	Highest	435	509	437
	Median	370	315	347
	Lowest	350	300	330
Distance Business Administration	Number	19	256	285
	Highest	429	453	440
	Median	371	324	347
	Lowest	350	300	330

高等教育の質保証

- National Education Law (2014, 修正2015)に基づきNAQAC (National Accreditation and Quality Assurance Committee)が教育省傘下に設立 (2017)。
- AUN(ASEAN University Network)-QAに準拠。
- まずは内部質保証 (IQA)と基準作りに重点。外部評価 (EQA) ・正式認証はパイロット的に一部大学から開始。

88/134大学がUniversity CharterのドラフトをNAQACに提出。

政治的不安定さにより改革は中断

- 2024年7月から大学毎にIQA委員会とリソースユニットを設置する提言あり (All Myanmar Education Conference 2024年6月25～27日、11省参加)
- 第1回NAQAC会議開催 (2024年9月25日)、第2回10月31日

9省からのNAQAC委員 + 学長・副学長

AUN-QAガイドラインを配布するので参照してワークショップ、セミナー、訓練を行うよう教育副大臣から指示。

- AUN-QA Guideline (ミャンマー語 + 英語) を作成し配布 (12月までに)
 - 大学の内部QAチームと NAQAC 外部評価チームの連携強化
 - Evidence-based decision makingを強化
 - Self-Assessment Formの検討
 - 第1回Engagement Forum 2024年12月12日 於ヤンゴン大学
- NAQAC は外部質保証 (EQA) を構築する役割
- 大学は内部質保証 (IQA) を整備する責任：大学の内部QA構築に必要なプロジェクト管理の議論、大学間の経験共有による QA 協力強化
- 第4回NAQAC会議 2025年2月20日 認証プロセス、評価マニュアル

QA制度実装の困難さ

「大学の自律性の欠如、複数省による分断された管理、大学の内部QA能力の不足、標準化されたデータ基盤の欠如、そして予算・人的資源の不足が、国家QA制度の実施を著しく困難にしている。」

National Education Strategic Plan 2021-2030の記述

- 多くの省が大学を所管、QA基準の統一が困難、NAQAC（教育省所管）の権限が弱く、全大学を統一的に指導できない。
- カリキュラム、教員採用、予算、研究計画などが省により中央集権的に管理、各大学がIQA（内部質保証）を自律的に構築できない。

Autonomyとは何か？ Administrative/ Academic /Staff /Finance？

教員は国家公務員で給与は財務・歳入省、人事院の管轄下、外貨割り当ては外務省管轄下。人事は頻繁なTransferとRotation。学長を含め教育スタッフは長期的計画、能力開発、組織強化の努力を怠り人任せにする風潮。

- 教員が兼務でQAを担当し、専門性が育たない、教員研修制度が弱い。
- 研究資金が不足し、研究成果が乏しい。

研究業績作成のインセンティブは？

昇進基準 1 現職勤続年数 2 公務員勤続年数 3 研究業績

↓ 1 現職経験年数 2 研究業績 3 公務員勤続年数

- 大学のデータが標準化されていない:学生数、卒業率、教員資格、研究成果などのデータが統一形式で管理されていない。
- QA活動（外部評価、研修、データ整備）に必要な予算が確保されていない。
- 大学の数は多いが入学範囲が地域割。地域間バランスはどう考慮？
- 長期的に安定した資源とインセンティブがなければQA制度は成功しない。ブロックグラント？

私立大学

- **University**や**College**という名前の私立大学は存在していたが、政府の認可は受けていなかった。
- 2023年に私立学校法が制定されたことによって、2024/25年から64校の私立大学が認可された（教育省）。
- ただ、現状では教育条件に不備があるとして、**University**ではなく**College**という名称を用いるという条件付きで認可。
- 2年後に再審査予定。
- 教育省内に教育大臣を長としたPrivate School Supervisory Boardがある。

100日計画：新政権の各分野の重点施策（2026年4月）

- 2026/27の教育省予算は国家予算の6.92%、他省の教育予算を併せると9.22%。来年度は10%以上。将来は20%に。
- KG+9を義務教育にする。モデルの強化。
- NSA、ヤンゴン大学、マンダレー大学にCRI(Center for Research and Innovation)を置いて研究のハブに。
- 全国的にPlacement Testを2026年6月に実施。

G1-G8相当の学力を確認。確認できれば1つ上へ。

対象：帰還児童生徒、非公式教育機関（NUG系、民族教育）

出身者、学習中断者、など編入希望者

学力を確認し、基礎教育学校の学力に応じた学年に編入

Township教育事務所が実施

学生モビリティの状況、課題、展望

- ミャンマーからの留学生数は急増（JASSO）

全留学生 7,773(2023)→16,596(2024)→29,413(2025)

高等教育機関 3,600 6,996 13,248

- マトリキュレーション試験に合格していれば日本の大学入学試験を受けるのに問題ない。面接だけでも十分。証書に疑問があれば→Department of Myanmar Examinations
- 高校課程修了証書があれば大学受験資格はある。証書に疑問があれば→Department of Basic Education
- 反政府勢力圏内の基礎教育学校を修了した証書は認証上の問題があるが、国際的に通用しているバカロレア等の認定があれば問題ないのではないか。
- それ以外は各大学が受験資格の有無を判断するしかない。

まとめ 1

- 各省が各種の高等教育機関を所管。
- マトリキュレーション試験合格が、ミャンマー語、英語、数学の3科目、及びその他3選択科目を各40点以上を要求しているのは幅広い基礎科目をある程度は学習させることを狙っているため。
- 各大学がそれぞれ独自に入学試験をするのは現実的ではない：インフラが整備されておらず受験のための移動が容易ではない、受験の選択肢が少なくなる、等の理由。
- 医科大学などが面接や心理検査ができるのは、書類選考で人数を絞り最終段階になって、不適格者を落とすため、少数を対象に行うから。
- 大学毎に特徴を出すためには、可否判定に用いる受験科目を特徴づける事が考えられている。

6科目合計→4、3、2科目などの少数科目の合計得点で判定。 59

まとめ 2

- 2026年のマトリキュレーション試験受験者数は2020年の28%に止まっている。
- 受験者数が減少すれば合格率を上げたところで、一定以上の学力を持つ合格者の数は限定される。その合格者が各大学に配分されることになるが、クーデター前と比較して、各大学は質の高い（得点の高い）入学者の確保が難しくなった。
- 新入生に関し、社会的威信の高い専門大学では2024/25年は2019/20年の77%が確保できている。
- 新入生に関し、非専門大学昼間課程では17%、遠隔教育課程では82%、全体として62%と、特に非専門大学昼間課程で学生の確保が難しくなっている。
- 大学には学生の学力に応じた階層があるが、社会的威信の高い専門大学でも入学生の学力レベルはいくらか低下し、威信の低い大学ではさらに学力レベルが低下した。

まとめ 3

- 合格率の変化は受験者の学力分布の変化、クーデターの影響による受験者の減少、学校制度改革による受験資格の変化が複合的に加わったもの。
- 2027年以降は学校制度改革の影響による変動は少なくなり、2022年水準まではすぐ戻ると思われるが、2019年の状況に戻るには社会的安定が重要であり、長い時間を要すると考えられる。
- 従来合格者の進学先としてプライオリティが低かった地域大学や遠隔教育課程は安全性の観点から評価が高くなり、高学力層の進学も見られるようになり、学力的に多様な学生が進学する様相が見られる。

まとめ 4

- 女子が理系科目が不得意ということはない。むしろ得意。一部大学の男女定員同数は女子に不利。
- 各省が大学を管理する現状では学位制度は複雑。大学が細分化され総合化が困難。
- 質保証制度導入への国際的圧力は高いが、大学間の競争は制限され、質保証制度の実装は容易ではない。
- 研究機能を活性化する努力（予算、人事）はあるが不十分。
- 社会のニーズに合った教育内容が提供されているか疑問。
- 遠隔教育は独自の魅力があるが、教育の質が問題。
- 大学の教授言語が英語であることの利点と問題点。